

2022.03.02 作成

2022 年 2 月新聞書評に掲載された本



やさいのおにたいじ〜御伽草子「酒吞童子」より〜(こどものとも絵本)

つるたようこ 著

福音館書店

お屋敷に住むかぶのお姫さまが、東の山のおそろしいこんにゃくいもの鬼にさらわれてしまいました。助け出すべく立ち上がったのは、知恵と勇気のある 6 人の野菜たち。いざ、鬼退治へ!

産経新聞 2022/02/03

2020:2./ 31p
978-4-8340-8547-1

¥990〔税込〕



警官の道

呉 勝浩／下村 敦史／長浦 京／中山 七里／葉真中 顕／深町 秋生／柚月裕子 著

KADOKAWA

刑事事件化されなかった交通事故に隠された真実、パディを組む上野署の刑事が抱える秘密、性犯罪の捜査に乗り出した女刑事が見たもの…。次世代ミステリー作家 7 人による書き下ろしを収録した警察小説アンソロジー。

産経新聞 2022/02/06

2021:12./ 325p
978-4-04-112076-7

¥1,870〔税込〕



ヌード道〜じゅんとなめ子のハダカ芸術入門〜

みうら じゅん／辛酸 なめ子 著

新潮社

猥褻か、芸術か-。春画からロダンまで、古今東西のヌード表現をめぐり、みうらじゅんと辛酸なめ子が語り合う。図版も多数掲載。『芸術新潮』掲載に新たな対談を加えて単行本化。

産経新聞 2022/02/06

2021:12./ 157p
978-4-10-334152-9

¥1,980〔税込〕



ニッポンの音楽批評 150 年◆100 冊

栗原 裕一郎、大谷 能生 著

リットーミュージック

日本人はどのように音楽を語ってきたのか。1876 年から 2025 年まで、各時代の音楽を取り巻く「通史」と、その時代の代表的な「音楽の本」20 冊を解説。国会図書館サイトで読める書籍の QR コード付き。

産経新聞 2022/02/06

2021:11./ 447p
978-4-8456-3677-8

¥2,750〔税込〕



- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会の際は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2022 年 3 月時点での税込み価格です。



「経済成長」とは何か～日本人の給料が25年上がらない理由～(ワニブックス
|PLUS|新書 341)

田村 秀男 著

ワニブックス

給料が増えないのも、「安いニッポン」に成り下がったのも、すべて経済成長を軽視したことが原因。では経済成長を続けるには何が必要なのか。それをわかりやすく説明する。

産経新聞 2022/02/06

2022:1./ 316p
978-4-8470-6183-7

¥1,100〔税込〕



日本の鬼図鑑

青幻舎

酒吞童子、温羅、橋姫、朱雀門の鬼、鬼子母神…。室町時代以降に描かれた絵画史料とともに、主要な鬼たちの出自や系譜をわかりやすく解説する。鬼たちの能力がわかるパラメーター付き。

産経新聞 2022/02/06

2021:12./ 175p
978-4-86152-866-8

¥2,420〔税込〕



mRNA ワクチンの衝撃～コロナ制圧と医療の未来～

ジョー・ミラー／エズレム・テュレジ／ウール・シャヒン 著

早川書房

ファイザーワクチンをわずか11カ月で開発! 「医療界のゲームチェンジャー」として一躍脚光を浴びている mRNA 医薬の技術で、世界の最先端を走るバイオ企業の創業者/研究者夫妻に密着取材したドキュメント。

産経新聞 2022/02/06、毎日新聞 2022/02/19

2021:12./ 428p
978-4-15-210075-7

¥2,530〔税込〕



日本依存から脱却できない韓国(新潮新書 938)

佐々木 和義 著

新潮社

「日本不買」を掲げたが、実際に困ったのは韓国の方だった-。日本にマウントを取りたいが、依存せずには立ち行かない彼らとどう付き合うか。目からウロコの現地レポート。『デイリー新潮』等掲載に加筆して新書化。

産経新聞 2022/02/12

2022:1./ 203p
978-4-10-610938-6

¥858〔税込〕



フランスの小さくて温かな暮らし 365日～大切なことに気づかせてくれる日々の
のヒント～

トリコロール・パリ 著

自由国民社

フランスに住む人たちの何気ない習慣、暮らしに欠かせない食べ物、ふとした幸せ…。365日のフランスの普段の顔を、1日1頁で写真とともに紹介。日々を丁寧に暮らしたい人へのヒントが盛りだくさん。

産経新聞 2022/02/12

2021:3./ 367p
978-4-426-12688-9

¥1,699〔税込〕





マルグリット・デュラスの食卓

マルグリット・デュラス 著

悠書館

デュラスの愛した料理、そして人生とは。料理好きのデュラスがノートに書きつけていたレシピの数々を、生前のインタビューや小説の言葉、作家の部屋の写真とともに紹介する。切り取るデュラス自筆の食品メモのカード付き。

産経新聞 2022/02/12、毎日新聞 2022/02/19

2022:1./ 67p
978-4-86582-046-1

¥2,200〔税込〕



旧皇族の宗家・伏見宮家に生まれて～伏見博明オーラルヒストリー～

古川 江里子／小宮 京 編

伏見 博明 著

中央公論新社

皇族と民間人の二つの人生を歩んだ、旧伏見宮家第二十四代当主、伏見博明。祖父・博恭王の思い出、現上皇との日光疎開、皇籍離脱などについて語る。2019年12月から2021年9月に行われた聞き取り調査をもとに書籍化。

産経新聞 2022/02/13

2022:1./ 9p,198p
978-4-12-005495-2

¥2,640〔税込〕



野ネズミとドングリ～タンニンという毒とうまくつきあう方法～

島田 卓哉 著

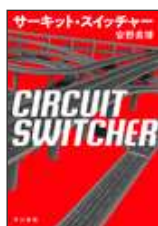
東京大学出版会

野ネズミにとってドングリとはなにか？ドングリに含まれる毒性を持つ物質「タンニン」の問題を、森に暮らす野ネズミたちがどのように克服しているかという謎に迫る。近年明らかになったドングリと動物の数の関係にも触れる。

産経新聞 2022/02/13

2022:1./ 7p,179p,13p
978-4-13-063952-1

¥3,740〔税込〕



サーキット・スイッチャー

安野 貴博 著

早川書房

自動運転アルゴリズムを開発する企業の代表が、自動運転車内で襲われ拘束された。謎の襲撃犯は、車が走っている首都高速中央環状線の封鎖を要求、封鎖しなければ車内に仕掛けられた爆弾が爆発すると告げて…。

産経新聞 2022/02/13

2022:1./ 285p
978-4-15-210078-8

¥1,870〔税込〕



田沼意次 百年早い開国計画～海外文書から浮上する新事実～

秦 新二／竹之下 誠一 著

文藝春秋

江戸中期の悪徳老中と言われる田沼意次は、先見性に満ちた富国政策を行い、時代を読む眼を持っていた。海外の新資料を渉猟し、田沼意次の真の政治の姿を解明。徳川家基暗殺の全貌や、一橋派との権力闘争の深部を炙り出す。

産経新聞 2022/02/13

2022:1./ 419p
978-4-16-009014-9

¥1,699〔税込〕





日本の対中大戦略(PHP 新書 1289)

兼原 信克 著

PHP 研究所

今の中国を西側との協調路線に戻すことは容易ではない。日本は、中国共産党と人民解放軍の支配する中国とどう向き合っていけばよいのだろうか。戦略的思考、歴史観の両者に根差した外交戦略、軍事戦略を構築する。

産経新聞 2022/02/13

2021:12./ 309p
978-4-569-85092-4

¥1,078〔税込〕



* 9 7 8 4 5 6 9 8 5 0 9 2 4 *



対決の東国史<4> 鎌倉公方と関東管領

植田 真平 著

吉川弘文館

南北朝・室町時代。君臣の間柄だった、鎌倉府の首長「鎌倉公方」足利氏と、それを支えた「関東管領」上杉氏は、東国の動向や京都とのかかわりが絡み「対決」の結末をたどる。自立へ向かう 100 年の東国史を解きほぐす。

産経新聞 2022/02/13

2022:2./ 7p,227p
978-4-642-06870-3

¥2,200〔税込〕



* 9 7 8 4 6 4 2 0 6 8 7 0 3 *



ディズニーキャストざわざわ日記〜“夢の国”にもxxxxご指示のとおり掃除します〜

笠原 一郎 著

フォレスト出版

手を抜くこともあれば、ミッションを忘れるほどゲストに対して怒りを覚えることもある。給料が安いと不満を持ちたりもする。ディズニーランドで 8 年間働いた著者が、“夢の国”の「ありのまま」の姿を伝える。

産経新聞 2022/02/13

2022:1./ 205p
978-4-86680-921-2

¥1,430〔税込〕



* 9 7 8 4 8 6 6 8 0 9 2 1 2 *



最後の角川春樹

伊藤 彰彦 著

毎日新聞出版

本と映画と音楽の融合、父との闘争と和解、価値破壊と文化創造...破格の構想力によって、「出版」は「事件」となった。幾多の受難から立ち上がった角川春樹が、少年時代から現在までを語る。

産経新聞 2022/02/13、東京・中日新聞 2022/02/13

2021:11./ 319p
978-4-620-32710-5

¥2,090〔税込〕



* 9 7 8 4 6 2 0 3 2 7 1 0 5 *



ライティングの哲学〜書けない悩みのための執筆論〜(星海社新書 187)

千葉 雅也／山内 朋樹／読書猿／瀬下 翔太 著

星海社

「書けない病」を克服するには。書くことを一生の仕事としながらも、書けない悩みを抱えた 4 人が、新たな執筆術を模索。具体的な執筆方法から書くことの本質までを縦横無尽に探求する。

産経新聞 2022/02/19

2021:7./ 268p
978-4-06-524327-5

¥1,210〔税込〕



* 9 7 8 4 0 6 5 2 4 3 2 7 5 *



正岡子規伝～わが心世にしのこらば～

復本 一郎 著

岩波書店

俳句を世に広め、短歌革新運動に取り組み、俳諧研究家としても多大な業績を残した正岡子規。その複雑かつ多面的な魅力の全体像を、子規周辺の人物たちの動向をも含めて、総合的に叙述する。

産経新聞 2022/02/20

2021:12./
6p,355p,22p
978-4-00-024833-4
¥4,070〔税込〕



忍者学研究

山田雄司 編

三重大学国際忍者研究センター 著

中央公論新社

忍者はどんな修行をしていたのか。忍術の秘密とは…。微生物学、環境学、中毒学、力学、工学、防災学など、三重大学のさまざまな分野の研究者が、忍者の歴史と実態に迫る。『読売新聞』伊賀版・三重版連載を改題して再編集。

産経新聞 2022/02/20

2022:2./ 237p
978-4-12-005499-0
¥1,760〔税込〕



ナチ・ドイツの終焉～1944-45～

イアン・カーショウ 著

白水社

敗戦必至の第三帝国はなぜ降伏せず、全面的に破壊されるまで戦い続けたのか。ナチズム研究の世界的権威イアン・カーショウが、体制断末魔の10カ月間、ヒトラーを頂点とする支配の構造と人々のメンタリティーを究明する。

産経新聞 2022/02/20

2021:11./ 543p,153p
図版 16p
978-4-560-09874-5
¥6,820〔税込〕



作家と珈琲

平凡社編集部 編

平凡社

ああ、この一杯。珈琲の香りただよう52篇を収録。茨木のり子、串田孫一、植草甚一、村田沙耶香、池波正太郎、高山なおみ、田河水泡ら、昭和の文豪や現代の人気作家によるエッセイ、マンガ、写真などを収録する。

産経新聞 2022/02/20

2022:1./ 268p
978-4-582-74714-0
¥2,090〔税込〕



初心～時代を生き抜くための調整術～

井上康生 著

ベースボールマガジン社

2012年11月の就任以来、日本柔道界に变革の風をおくり続けた井上康生全日本男子強化監督。真の組織のあり方とは、人を動かす力、巻き込む力とは何かを語る。鼎談、対談も収録。『近代柔道』連載に加筆・修正。

産経新聞 2022/02/20

2021:12./ 239p
978-4-583-11404-0
¥1,870〔税込〕





花のなごり～奈良奉行・川路聖謨～

出久根達郎 著

養徳社

春は桜、秋は紅葉。花の都で鳴らしたいにしへの奈良の再現を図り、自ら興福寺、東大寺内に植樹し…。奈良の地の再生と民情の安定に力をつくした川路聖謨の人間像を描いた物語。「桜奉行」の後編。『陽気』連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2022/02/20

2021:11./ 468p
978-4-8426-0132-8

¥2,750〔税込〕



中国牛鬼蛇神録～獄中の精霊たち～

楊 曦光、劉 燕子 著

集広舎

地下反体制政党の指導者、泥棒、スリ、迫害された宗教者、国民党の高官…。「現行改革」で懲役 10 年の刑となった著者が、中国の「収容所群島」で獄中生活を共にした面々との記録を通じて、文化大革命時代の中国を描く。

産経新聞 2022/02/20

2021:12./ 533p
978-4-86735-021-8

¥3,850〔税込〕



ニーチェ～道徳批判の哲学～ 極限の思想(講談社選書メチエ le livre)

大澤 真幸、熊野 純彦 編

城戸 淳 著

講談社

現在の道徳意識を「キリスト教道徳」と規定し、これに対する「いっさいの価値の転換」を訴えたニーチェ。彼はなぜ道徳を批判したのか。「道徳の系譜学」を中心に読み解き、ニーチェ哲学の魅力と射程に迫る。

産経新聞 2022/02/27

2021:11./ 240p
978-4-06-523949-0

¥2,310〔税込〕



完璧な家族(小学館文庫 カ 3-3)

リサ・ガードナー 著

小学館

一家を襲った銃撃事件の後、16 歳の長女ロクシーが姿を消した。ボストン市警の女刑事 D・D・ウォレン、そして、472 日間の壮絶な監禁から生還したフローラも彼女の行方を追い…。『棺の女』の続編。

産経新聞 2022/02/27

2022:2./ 556p
978-4-09-406885-6

¥1,320〔税込〕



もう別れてもいいですか

垣谷 美雨 著

中央公論新社

一緒にいるだけで息がちゃんと吸えなくなる。離婚したい。でも、お金がない。女を奴隷扱いする男たちとの決別を描く、50 代ベテラン主婦のハッピー離婚戦線。『婦人公論』連載を単行本化。

産経新聞 2022/02/27

2022:1./ 297p
978-4-12-005488-4

¥1,760〔税込〕





異常

エルヴェ・ル・テリエ 著

早川書房

殺し屋、弁護士、売れない作家、歌手、がんを告知された男…。なんのつながりもない人びとが、ある飛行機に同乗したことで、運命を共にする。飛行機は未曾有の巨大乱気流に遭遇し、乗客は奇跡的に生還したかに見えたが…。

産経新聞 2022/02/27

2022:2./ 417p
978-4-15-210079-5

¥2,970〔税込〕



マイルス・デイヴィス大事典

小川 隆夫 著

シンコーミュージック・エンタテイメント

「ジャズの帝王」マイルス・デイヴィス。全オフィシャル音源の完全データ&解説をはじめ、演奏楽曲事典、関連人物事典などを収録する。Spotify/YouTube にアクセスできる QR コード付き。

産経新聞 2022/02/27

2021:12./ 839p
978-4-401-65118-4

¥5,500〔税込〕



シベリアの俳句

ユルガ・ヴィレ 著

花伝社

1940 年代、シベリアの強制収容所。ソ連軍によって占領地から強制移送された少年は、短く美しい日本の「詩」に出会う。極寒の流刑地で、少年は何を見たか？ 実話を元に描かれたリトアニア発のグラフィックノベル。

産経新聞 2022/02/27

2022:2./ 237p
978-4-7634-0996-6

¥2,200〔税込〕



ロシアのチョコレート包み紙〜ソ連時代のかawaiiデザイン〜

小我野明子／イーゴリ・スミレンヌイ 著

青幻舎

まるでちいさな芸術作品-。帝政時代にはじまり、ソビエト連邦を経て、現代に至るロシアのチョコレート包み紙デザインのうち、1950?80 年のコレクションからピックアップしてオールカラーで紹介します。

産経新聞 2022/02/27

2022:1./ 159p
978-4-86152-878-1

¥2,420〔税込〕



解きたくなる数学

佐藤 雅彦／大島 遼／廣瀬 隼也 著

岩波書店

「ピタゴラスイッチ」制作メンバーが作った、論理的思考が身につく数学問題集。「鳩の巣原理」「三角不等式」「数学的帰納法」などを魅力的な写真とグラフィックで表現した、全 23 問を収録する。

朝日新聞 2022/02/05

2021:9./ 133p
978-4-00-006339-5

¥1,980〔税込〕





ヨーロッパ史入門～原形から近代への胎動～(岩波ジュニア新書 945)

池上 俊一 著

岩波書店

ヨーロッパはどのような歴史を歩んできたのか。古代ギリシャ・ローマから、文化的統合体としてのヨーロッパが成立した中世半ば、そして大航海時代や宗教改革を経て、絶対王政の全盛期である 17 世紀末までを考察する。

朝日新聞 2022/02/05

2021:12./
11p,214p,12p
978-4-00-500945-9

¥968〔税込〕



ヨーロッパ史入門～市民革命から現代へ～(岩波ジュニア新書 946)

池上 俊一 著

岩波書店

ヨーロッパはどのような歴史を歩んできたのか。市民(ブルジョワ)の登場、アメリカ独立革命とフランス革命、2つの世界大戦、アメリカと中国の台頭…。啓蒙主義の時代である 18 世紀から現代までを考察する。

朝日新聞 2022/02/05

2022:1./ 9p,228p,13p
978-4-00-500946-6

¥990〔税込〕



オードリー・タン母の手記『成長戦争』～自分、そして世界との和解～

近藤 弥生子 著

KADOKAWA

台湾で「周囲との摩擦を恐れず、自主教育を広めるために告白する、ギフテッドと主流の価値観との争いにおける成長の歴史」と紹介されたオードリー・タンの母親の手記を、台湾在住の日本人ライターが日本向けに補完して紹介。

朝日新聞 2022/02/05

2021:11./ 255p
978-4-04-680753-3

¥1,980〔税込〕



高瀬庄左衛門御留書

砂原 浩太郎 著

講談社

神山藩で、郡方を務める高瀬庄左衛門。50 を前にして妻子を失い、息子の嫁とともに、寂寥と悔恨の中に生きていた。しかし、藩の政争の嵐が庄左衛門を襲い…。人生の苦渋と生きる喜びを丁寧に描く。

朝日新聞 2022/02/05

2021:1./ 335p
978-4-06-519273-3

¥1,870〔税込〕



恋とゲバルト (1) (モーニング KC)

細野 不二彦 著

講談社

昭和 43 年 4 月。世界各国で学生運動が拡がり続け、日本でも大学などを中心に嵐が吹き荒れていた。右翼の学生活動部隊の切り札として招集され 仙台から上京した純朴な青年・東儀ひろしは 左翼や右翼の学生たちが入り乱れる カオスなキャンパスで運命的な出会いを果たす。荒れる大学構内で植物を育てる可憐な女性・北条美智子。彼女に惹かれ始めるひろしだが、彼女もまた人知れず 左翼の秘密兵器として活動していた――。激動の時代、恋と革命のドラマが動き出す!!

朝日新聞 2022/02/05

2021:11./ 192p
978-4-06-524463-0

¥748〔税込〕





黛家の兄弟

砂原 浩太郎 著

講談社

神山藩で代々筆頭家老の黛家。三男の新三郎は大目付を務める黒沢家に婿入りし、政務を学び始める。そんな中、黛家の未来を揺るがす大事件が起き…。神山藩シリーズ第2弾。『小説現代』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2022/02/05

2022:1./ 410p
978-4-06-526381-5

¥1,980〔税込〕



「非モテ」からはじめる男性学(集英社新書 1076)

西井 開 著

集英社

モテないから苦しいのか？当事者の語り合いグループを立ち上げた著者が、男性が「非モテ」という苦悩を抱くまでの過程や内実を掘り下げ、問題の背景や構造を解明。また「非モテ」の苦悩から抜け出すための実践も提示する。

朝日新聞 2022/02/05

2021:7./ 235p
978-4-08-721176-4

¥924〔税込〕



マジョリティ男性にとってまっとうさとは何か～#MeTooに加われない男たち～(集英社新書 1082)

杉田 俊介 著

集英社

#MeToo運動など、女性の性別に伴う差別や不平等への意識が高まっている。他方、多くの男性は男性性や既得権、異性との向き合い方に戸惑っているのではないかな。そんな男性たちに応え、性差を超えた運動の可能性を提示。

朝日新聞 2022/02/05

2021:9./ 293p
978-4-08-721182-5

¥1,012〔税込〕



ぷくぷく(小学館文庫 も 19-5)

森沢 明夫 著

小学館

恋に臆病なイズミと、そんな彼女をいつも見つめているユキ。そこへ新たな男性の存在が。果たしてイズミの凍った心を溶かす恋は始まるのか…。心と身体に傷を持つ「ふたり」のもどかしくて切ない奇跡のストーリー。

朝日新聞 2022/02/05

2022:1./ 412p
978-4-09-407107-8

¥902〔税込〕



俘虜記 改版(新潮文庫 お-6-1)

大岡 昇平 著

新潮社

朝日新聞 2022/02/05

2010:8./ 571p
978-4-10-106501-4

¥935〔税込〕





だまされ屋さん

星野 智幸 著

中央公論新社

秋代の家に、ある日謎の男が現れる。娘と家族になろうとしているという。これは新手の詐欺なのか、それとも歪んだ一家に福音をもたらす救世主か？ 家族のあり方や人々のつながり方を問う長編。『読売新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2022/02/05

2020:10./ 397p
978-4-12-005348-1

¥1,980〔税込〕



地球外生命～アストロバイオロジーで探る生命の起源と未来～(中公新書 2676)

小林 憲正 著

中央公論新社

「最初の生命」は、どこから来たのか。宇宙が命のふるさとなら、地球外の惑星にも生命が存在するのでは。進化のプロセスと、最新の惑星探査での知見をもとに、アストロバイオロジーから、生命の起源と地球外生命に迫る。

朝日新聞 2022/02/05

2021:12./ 5p,274p
978-4-12-102676-7

¥990〔税込〕



エビはすごいカニもすごい～体のしくみ、行動から食文化まで～(中公新書 2677)

矢野 勲 著

中央公論新社

なぜエビ・カニは茹でると赤くなるのか。なぜエビは跳びはね、カニは爪先で歩くのか。エビ・カニとシャコやヤドカリとの違いとは。多種多彩なエビ・カニの、体のしくみやすごい生き方を紹介する。

朝日新聞 2022/02/05

2021:12./ 4p,264p
978-4-12-102677-4

¥990〔税込〕



改良(河出文庫 と 10-1)

遠野 遥 著

河出書房新社

ゆるやかな絶望を生きる大学生の「私」は、バイトで稼いだ金をデリヘルと美容に費やす日々を送っていた。やがて女性の服を買い、「美しさを人に認められたい」と願うようになるが、それは理不尽な暴力を運んできて...

朝日新聞 2022/02/05

2022:1./ 133p
978-4-309-41862-9

¥572〔税込〕



火星の歩き方(光文社新書 1172)

臼井寛裕、野口里奈、庄司大悟 著

光文社

45億年、手つかずの自然を味わい尽くす旅へ！ 火星の豊かな地形を、「火星一周」「オリンポス登山」など3つのルートを取り上げて紹介する。地球上にある火星に似た場所、火星の成り立ちと歴史を知るコラムも掲載。

朝日新聞 2022/02/05

2021:12./ 233p
978-4-334-04580-7

¥1,078〔税込〕





風刺画が描いた JAPAN～世界が見た近代日本～

若林悠 著

国書刊行会

世界の果てから列強居並ぶ現代社会に現れ出た日本のふるまいを、各国はどのように見ていたのか。黒船来航から太平洋戦争勃発までの近代日本史を、150点あまりの風刺画を通して詳細に解説する。

朝日新聞 2022/02/05

2021:11./ 222p
978-4-336-07267-2

¥4,180〔税込〕



家(うち)の馬鹿息子～ギュスターヴ・フローベール論(1821年より1857年まで)～<5>

ジャン - ポール サルトル 著

人文書院

客観的神経症とは何か、19世紀の作家たちはこの神経症をどのように生きたかを論述。第二帝政下でのフローベールの生き方と客観的神経症との関係も考察する。サルトルによるフローベール研究の邦訳、完結。

朝日新聞 2022/02/05

2021:12./ 766p
978-4-409-14068-0

¥22,000〔税込〕



はじめて学ぶ環境倫理～未来のために「しくみ」を問う～(ちくまプリマー新書 391)

吉永 明弘 著

筑摩書房

環境問題に対応できる社会システムを支える「環境倫理」の入門書。エコ生活で環境はよくなるか？ つくられた自然は偽物か？ なぜ生物多様性が大切なのか？ 地球全体の話から身近な問題まで、環境問題に関する疑問を解説。

朝日新聞 2022/02/05

2021:12./ 204p
978-4-480-68416-5

¥902〔税込〕



日本兵を殺した父～ピューリッツァー賞作家が見た沖縄戦と元兵士たち～

デール・マハリッジ、藤井 留美 著

原書房

第二次大戦時に米国軍海兵隊員だった父は、死の間に「自分は沖縄戦に加わり、日本兵を殺した」と告白した。父と同じ部隊にいた元兵士たちを訪ねてインタビューし、沖縄へ飛び、戦争の凄惨な実像に迫る。

朝日新聞 2022/02/05

2013:6./ 373p
978-4-562-04925-7

¥2,750〔税込〕



コロナ禍のアメリカに行く～ピューリッツァー賞作家が見た繁栄から取り残された人々の物語～

デール・マハリッジ 著

原書房

生活困窮者の取材を行ってきたアメリカのジャーナリストが、2020年半ば、コロナ禍のアメリカを西から東へと旅した記録。さまざまな人々の声を紹介するとともに、どうすればアメリカンドリームを取り戻せるかを考察する。

朝日新聞 2022/02/05

2021:11./ 224p
978-4-562-05967-6

¥2,200〔税込〕





**決算書ナゾトキトレーニング～7つのストーリーで学ぶファイナンス入門～
(PHP ビジネス新書 433)**

村上 茂久 著

PHP 研究所

メルカリ、228 億円の赤字でも絶好調の理由は？ ニュースの表層だけを見てもわからない、企業の本音に数字で迫る「決算書ミステリー」。対話形式で決算書からビジネスモデルを解き明かす。

朝日新聞 2022/02/05

2022:1./ 285p
978-4-569-85098-6

¥990〔税込〕



彼方のアイドル(双葉文庫 お-43-01)

奥田亜希子 著

双葉社

中学生の息子に髭、自分の頭には白いものが…。誰もが経験しうる、身体にまつわるあれこれ。そこから見えてくる新たな景色を、やわらかな眼差しで掬いとった短編集。表題作含む全 5 編収録。

朝日新聞 2022/02/05

2022:1./ 233p
978-4-575-52531-1

¥704〔税込〕



映像が動き出すとき～写真・映画・アニメーションのアルケオロジー～

長谷正人 編

トム・ガニング 著

みすず書房

<動く>イメージの視覚的文化論を鮮やかに展開し、映画・写真・アニメーションの映像文化圏を見晴らす。「アトラクションの映画」で知られる泰斗ガニングの、日本語版オリジナル編集による論文集。

朝日新聞 2022/02/05

2021:11./ 353p,7p
978-4-622-09054-0

¥7,920〔税込〕



日常の絶景～知ってる街の、知らない見方～

八馬 智 著

学芸出版社

日常にも絶景は潜んでいる。室外機、パイプ・ダクト、通信鉄塔、消波ブロック、ダム…。都市の内外に存在する対象物 15 項目を選び、「風景の見方のコツ」を緩やかに示す。

朝日新聞 2022/02/05

2021:12./ 143p
978-4-7615-2800-3

¥2,420〔税込〕



X線と映画～医療映画の視覚文化史～(視覚文化叢書 8)

リサ・カートライト 著

青弓社

医学は「生命」をモニタリングするために、何を、どのように記録しようと試みたのか。医学の欲望が「生命」を把持し統制しようと格闘した歴史をたどり、現代の画像技術へつながる医学的な映像実践と映画との関係を検証する。

朝日新聞 2022/02/05

2021:12./ 305p
978-4-7872-7443-4

¥4,620〔税込〕





中野重治と朝鮮問題～連帯の神話を超えて～

廣瀬 陽一 著

青弓社

作家・中野重治の戦後のテキストにおける朝鮮や在日朝鮮人の言説を丹念に読み込み、安保闘争や浅間山荘事件、東西冷戦などの社会的な事件・状況を踏まえながら、彼の朝鮮認識の変容と実像を明らかにする。

朝日新聞 2022/02/05

2021:12./ 290p
978-4-7872-9264-3

¥3,080〔税込〕



おせん～東京朝日新聞夕刊連載版～

真田幸治 編

邦枝完二 著

幻戯書房

昭和8年(1933)に『東京朝日新聞』夕刊で連載された邦枝完二による著、小村雪岱による挿絵の「おせん」を新漢字・新仮名遣いに改め再現する。邦枝の「江戸」を絵で昇華させた<雪岱調>の完成形、記念碑的作品。

朝日新聞 2022/02/05

2022:1./ 253p
978-4-86488-235-4

¥3,850〔税込〕



オードリー・タンの思考～IQ よりも大切なこと～

近藤 弥生子 著

ブックマン社

一人一人の心に小さなオードリー・タンを宿そう。台湾のデジタル担当大臣、オードリー・タンへの独占インタビュー。“ソーシャル・イノベーション”をテーマに語った彼女の言葉から、その素顔に迫る。

朝日新聞 2022/02/05

2021:2./ 311p
978-4-89308-940-3

¥1,980〔税込〕



声を上げる、声を届ける～ラジオ報道の現場から～

澤田 大樹 著

亜紀書房

人数は絶滅危惧種並み、取材予算もテレビや新聞と比べてはるかに少ない「ラジオ記者」。ラジオ記者である著者が日々どのような取材をし、何を伝えようとしているのか、ラジオがこういった特性を持っているかを綴る。

朝日新聞 2022/02/05、東京・中日新聞 2022/02/27

2021:11./ 229p
978-4-7505-1715-5

¥1,650〔税込〕



福澤諭吉と丸山眞男～近現代日本の思想的原点～

平石 直昭 著

北海道大学出版会

日本の文明化と独立保持のために奮闘した福澤諭吉、その福澤を原点として近代日本を批判し、真の民主化と国民主義の革新を追求した丸山眞男。幕末?明治、戦前?戦後、日本社会の変革に一生を賭けた2人の知的格闘を跡づける。

朝日新聞 2022/02/05、読売新聞 2022/02/19

2021:12./
10p,453p,9p
978-4-8329-6876-9

¥8,800〔税込〕





いつもの言葉を哲学する(朝日新書 845)

古田徹也 著

朝日新聞出版

現実をばやかす言葉、責任を回避する言葉…。こうした表現が蔓延する中で、言葉を大切にすることは何をする事なのか。サントリー学芸賞受賞の気鋭の哲学者が、<しっくりくる言葉>を慎重に選び取る重要性を考える。

2021:12./ 289p
978-4-02-295153-3

¥935〔税込〕



朝日新聞 2022/02/05、日本経済新聞 2022/02/05



焼酎の科学～発酵、蒸留に秘められた日本人の知恵と技～(ブルーバックス B-2191)

鮫島 吉廣／高峯 和則 著

講談社

胡麻、蕎麦、芋、黒糖…。どんな原料からも造れて、蒸留酒なのに新酒でも旨く、健康にも良い「焼酎」。清酒を造れなかった九州地方の人々が生み出した知恵と技を、焼酎の歴史や最新の知見を踏まえながら紹介する。

2022:1./ 268p
978-4-06-526807-0

¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2022/02/05、日本経済新聞 2022/02/19



昭和天皇拝謁記～初代宮内庁長官田島道治の記録～<1> 拝謁記

田島 道治／古川 隆久／茶谷 誠一／富永 望／瀬畑 源／河西 秀哉／舟橋 正真／NHK 著

岩波書店

昭和天皇の生々しい肉声が明かされる-。連合国軍による占領から独立回復に至るまで、初代宮内庁長官田島道治によって書きとめられた、現代史の第一級史料。1 は、昭和 24 年 2 月?25 年 9 月の拝謁記を収録。

2021:12./ 19p,281p
978-4-00-026591-1

¥3,300〔税込〕



朝日新聞 2022/02/12



ちゃれんじ?(角川文庫)

東野 圭吾 著

角川書店

朝日新聞 2022/02/12

2007:6./ 253p
978-4-04-371805-4

¥572〔税込〕



言の葉は、残りにて(集英社文庫 さ 68-1)

佐藤 雫 著

集英社

鎌倉幕府の三代将軍・源実朝に嫁いできた摂関家の姫・信子。実朝は信子が教えてくれた和歌の魅力に触れ、武の力ではなく、言の葉の力で世を治めたいと願うが…。運命に翻弄された 2 人の切実な愛を描く歴史恋愛小説。

2022:1./ 408p
978-4-08-744342-4

¥858〔税込〕



朝日新聞 2022/02/12



アスベスト

佐伯 一麦 著

文藝春秋

長い時間をかけて迫りくる「静かな時限爆弾」によって奪われた平穏な人生。自身も患者である著者が現場を歩いて綴った、アスベスト(石綿)がテーマの連作小説。「せき」など全4編を収録。『文学界』掲載を単行本化。

朝日新聞 2022/02/12

2021:12./ 142p
978-4-16-391479-4

¥1,980〔税込〕



長城のかげ 新装版(文春文庫 み 19-46)

宮城谷 昌光 著

文藝春秋

秦王朝末期、小家の口八丁の青年・劉邦は、やがて挙兵し、たびたび敗れながらも、ついに項羽を下し…。漢王朝の始祖を、敵、味方、臣下、儒者ら、彼と共に動く影のように生きた同時代人の目で描いた連作短篇集。

朝日新聞 2022/02/12

2022:1./ 319p
978-4-16-791814-9

¥880〔税込〕



日刊イ・スラ～私たちのあいだの話～

イ・スラ 著

朝日出版社

購読料1カ月1万ウォン、20編送ります-。学費ローン返済のためにはじめて連載プロジェクト。恋人、家族、文章教室、日々の運動…。2018?2019年に綴った文章から41編を厳選しまとめる。

朝日新聞 2022/02/12

2021:11./ 286p
978-4-255-01263-6

¥1,980〔税込〕



東京の生活史

岸政彦 編

筑摩書房

東京で暮らしているいろんな階層、年齢、職業、ジェンダーの人生とは-。東京で生きる150人の膨大な語りを一冊に収録した、かつてないスケールで編まれたインタビュー集。

朝日新聞 2022/02/12

2021:9./ 1211p
978-4-480-81683-2

¥4,620〔税込〕



いい湯じゃのう<1> お庭番とくノ一(PHP文芸文庫 か 15-1)

風野 真知雄 著

PHP研究所

八代将軍・徳川吉宗のもとに熱海の湯が届かなくなった。草津、箱根の湯にも異変が起き、お庭番とくノ一が調査へ向かうことに。一方、江戸では「湯の神信仰」を説く天一坊なる者が現れ…。『河北新報』他掲載に加筆修正。

朝日新聞 2022/02/12

2022:1./ 280p
978-4-569-90185-5

¥748〔税込〕





鉢植えと人間

田嶋 リサ 著

法政大学出版局

古今東西、人間の暮らしは鉢植えとともにあった。アドニスの園の神話から、中東世界の織物文様、絵画や映画作品のなかの鉢植えの機能、オフィスの観葉植物まで。身近な植物栽培の歴史を振り返り、その意味を読み解く。

朝日新聞 2022/02/12

2018:12./
7p,268p,8,5p
978-4-588-37126-4

¥4,840〔税込〕



踏切の世界(旅鉄 BOOKS 051)

chokky 著

山と溪谷社

「こんな踏切があるの?」という変わった踏切や、「自動車ではない何か」が通る踏切など、全国のおもしろい踏切を紹介。さらに、踏切を構成する部品の機能やバリエーションなども解説する。動画にリンクした QR コード付き。

朝日新聞 2022/02/12

2021:12./ 158p
978-4-635-82338-8

¥1,980〔税込〕



日本史人物<あの時、何歳?>事典～0 歳から 85 歳まで、1,200 人の事跡～

吉川弘文館編集部 編

吉川弘文館

日本史上の人物が何歳の時に何をしていたのかが分かるユニークな事典。高校の日本史教科書に登場する人物など約 1200 人の主な履歴を、0 歳から 85 歳まで 1 歳毎に収録する。物故一覧、人名索引も収載。

朝日新聞 2022/02/12

2021:12./ 6p,287p
978-4-642-08407-9

¥2,200〔税込〕



ある特別な患者～医師たちの人生を変えた患者たちの物語～

エレン・デ・フィッサー 著

サンマーク出版

新型コロナ、出生前診断、虐待、安楽死…。医療先進国オランダの様々なバックグラウンドを持つ医師や看護師、医療従事者が「自分の人生を変えたひとりの患者」について語る。オランダでベストセラーのノンフィクション。

朝日新聞 2022/02/12

2021:12./ 446p
978-4-7631-3912-2

¥1,870〔税込〕



韓国「建国」の起源を探る～三・一独立運動とナショナリズムの変遷～

小野 容照 著

慶應義塾大学出版会

「民主主義国家・韓国」は三・一独立運動からはじまったのか? 日本・中国・米欧・ロシアを含めたグローバルな視点から独立運動の歴史的過程を丹念に描き、韓国の「建国」神話を問い直す。

朝日新聞 2022/02/12

2021:12./ 9p,288p,7p
978-4-7664-2785-1

¥2,970〔税込〕





ダンテ論～『神曲』と「個人」の出現～

原基晶 著

青土社

明晰な思想のもと、ダンテが「神曲」で描いたものは何だったのか。現実世界の中で「個人」の出現を予見し、人々の理念を超越した平和を見出した試みを明らかにし、世界文学の代表としての「神曲」が持つ現在性を描く。

朝日新聞 2022/02/12

2021:11./ 353p,36p

978-4-7917-7385-5

¥3,960〔税込〕



消えた球団 1950 年の西日本パイレーツ

塩田芳久 著

ビジネス社

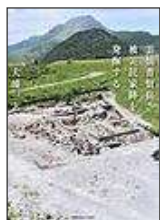
「プロ野球史上初の完全試合を食らったチーム」としてのみ名前が残る悲劇の球団「西日本パイレーツ」。その軌跡をたどりながら、エピソード豊かな球団の真実に迫る。『西日本新聞』福岡県版連載を大幅加筆し書籍化。

朝日新聞 2022/02/12

2021:11./ 239p

978-4-8284-2348-7

¥1,760〔税込〕



雲仙普賢岳被災民家跡を発掘する

大浦 一志 著

武蔵野美術大学出版局

1991 年の雲仙普賢岳噴火で埋まった被災民家跡と、その下に眠る縄文晩期の権現脇遺跡。2つの地面を掘り分け、自然の圧倒的なエネルギーと人間の営みの関わりを探る、思索と行動と鎮魂の発掘×アート・プロジェクトの記録。

朝日新聞 2022/02/12

2021:12./ 175p

978-4-86463-127-3

¥3,850〔税込〕



物価とは何か(講談社選書メチエ 758)

渡辺 努 著

講談社

物価とは何の値段か。企業はなぜ値上げをせず、商品を小さくするのか。失業、不況、長期デフレなど、社会を困難に陥れる経済失調との格闘の中で急速に発展してきた物価理論の要諦を、第一人者が具体例から明快に説く。

朝日新聞 2022/02/12、日本経済新聞 2022/02/19、毎日新聞 2022/02/19、読売新聞 2022/02/27

2022:1./ 333p

978-4-06-526714-1

¥2,145〔税込〕



アメリカ暴力の世紀～第二次大戦以降の戦争とテロ～

ジョン・W. ダワー 著

岩波書店

第二次大戦および冷戦の覇者アメリカは、どのような経緯で現在の世界の、そして自国の混沌を生み出してしまったのか。軍事をめぐる歴史とテロなどの不安定の連鎖拡大の現状について、簡潔にかつ深く洞察する。

朝日新聞 2022/02/20

2017:11./ 27p,186p

978-4-00-022099-6

¥2,090〔税込〕





忘却のしかた、記憶のしかた〜日本・アメリカ・戦争〜

ジョン・W.ダワー、外岡 秀俊 著

岩波書店

日本とアメリカは、アジア太平洋戦争の記憶をどう呼びおこし、何を忘却してきたのか。過去をひもとき、いまと対置することで「政治化」された歴史に多様性を取りもどす、ダワーの研究のエッセンスが凝縮された論集。

朝日新聞 2022/02/20

2013:8./ 16p,343p,6p

978-4-00-024783-2

¥3,300〔税込〕



俳句と人間(岩波新書 新赤版 1911)

長谷川 櫂 著

岩波書店

人間の生とは何か、そして死とは。野放しになった欲望、壊れかかった民主主義、言葉に踊らされる人々…。ひとりの俳人が癌の宣告をきっかけに、人間の生と死について考えた思索の記録。『図書』連載を書籍化。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 5p,227p,2p

978-4-00-431911-5

¥946〔税込〕



月夜の森の梟

小池真理子 著

朝日新聞出版

作家夫婦は病と死に向きあい、どのように過ごしたのか。残された著者は、過去の記憶の不意うちに苦しみ、その後を生き抜く。心の底から生きることを励ます喪失エッセイ。『朝日新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2022/02/20

2021:11./ 172p

978-4-02-251800-2

¥1,320〔税込〕



魂の秘境から(朝日文庫 い 2-3)

石牟礼道子 著

朝日新聞出版

海が汚染されるということは、ご先祖さまの魂のよりどころが破壊されるということであり、わたしたちの魂が還りゆくところを失うということ。水俣・不知火海の風景の記憶と幻視の光景を綴った、著者最晩年の肉声。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 221p

978-4-02-262059-0

¥858〔税込〕



カルピスをつくった男 三島海雲(小学館文庫 や 31-1)

山川 徹 著

小学館

行商としてモンゴル高原を行き来していた三島海雲は、遊牧民から振る舞われた乳製品の未知なる味に心が躍り、やがてその感動は海を渡る。日本初の乳酸菌飲料カルピスの生みの親の知られざる生涯を辿る。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 381p

978-4-09-407109-2

¥858〔税込〕





ニューノーマル・セックス(ビッグ コミックス)

まんだ 林檎 著

小学館

知らなきゃ！私たちの性教育、最前線！！ 僕たちに足りないのは、快感と性教育！？ 新時代における新しい性の価値基準がここに！ 高校入学式当日。知らない女生徒からコンドームを渡された 新入生の楠木刹那（くすのきせつな）は、“セックスマスター”として校内の有名人になってしまう！？ しかもその女生徒は、かつては同じチームでサッカーをしていた少年バンリのはずで！？ 学校中の性の悩みに対峙しなきゃいけない生活が始まる！？

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 160p
978-4-09-861182-9

¥650〔税込〕



限界病院(新潮文庫 ひ-30-8)

久間 十義 著

新潮社

北海道の過疎地域にあるバトラー病院は、深刻な財政危機を抱えていた。東京からやってきた外科医城戸健太郎は、新院長大迫佳彦と女医吉川まゆみとともに病院改革に乗り出していくのだが…。医療従事者の矜持と苦悩を描く。

朝日新聞 2022/02/20

2021:11./ 485p
978-4-10-136878-8

¥880〔税込〕



日本の近代建築ベスト 50(新潮新書 937)

小川 格 著

新潮社

自由学園明日館、ヒアシンズハウス、中銀カプセルタワービル…。ル・コルビュジエから丹下健三、隈研吾まで、現存する近代建築の傑作 50 を選び、写真やエピソードとともに徹底解説。戦前から現代まで流れる建築思想をたどる。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 223p
978-4-10-610937-9

¥880〔税込〕



吉田茂とその時代<上> 改版(中公文庫 タ 5-3)

ジョン・ダワー、大窪 愿二 著

中央公論新社

帝国主義の時代に外交官としてキャリアを積み重ね、戦後はマッカーサーとともに日本の再建に従事した吉田茂の評伝。上は、生い立ちから外交官時代、そして戦時中の反東条運動で投獄されるまでを描く。

朝日新聞 2022/02/20

2014:10./ 447p
978-4-12-206021-0

¥1,430〔税込〕



吉田茂とその時代<下> 改版(中公文庫 タ 5-4)

ジョン・ダワー、大窪 愿二 著

中央公論新社

帝国主義の時代に外交官としてキャリアを積み重ね、戦後はマッカーサーとともに日本の再建に従事した吉田茂の評伝。下は、戦後の、政治家としての軌跡を解明する。

朝日新聞 2022/02/20

2014:10./ 419p
978-4-12-206022-7

¥1,430〔税込〕





清張鉄道 1万3500 キロ(文春文庫 あ89-1)

赤塚 隆二 著

文藝春秋

清張世界の誰が、どの路線に最初に乗ったのか? JR 全線を乗破した元新聞記者が、松本清張の作品の中から「初乗り場面」のある 100 作を徹底研究する。作品中の私鉄の初乗り区間一覧等の資料も掲載。路線詳細図付き。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 328p
978-4-16-791820-0

¥869〔税込〕



父がひとりで死んでいた〜離れて暮らす親のために今できること〜

如月サラ 著

日経 B P 社

父が亡くなり母は施設へ。残るは無人の一軒家と維持費問題…。東京で働く 50 代の編集者が、遠く離れた実家で父が孤独死していたことから始まる、約 1 年間にわたる自身の行動や心の動きを綴る。

朝日新聞 2022/02/20

2021:12./ 159p
978-4-296-11145-9

¥1,650〔税込〕



JK、インドで常識ぶっ壊される

熊谷 はるか 著

河出書房新社

なにも知らないまま降り立ったインド。「カレーの国」だけじゃない豊かな文化。目を輝かせて未来を語るスラムの少年少女たち…。タピオカもプリクラもない国・インドの光と影を現役女子高生が綴る。

朝日新聞 2022/02/20

2021:12./ 221p
978-4-309-03016-6

¥1,540〔税込〕



失われた時を求めて<1> 第1篇「スワン家のほうへ(1)」(光文社古典新訳文庫 KA74-1)

プルースト 著

光文社

朝日新聞 2022/02/20

2010:9./ 470p
978-4-334-75212-5

¥1,056〔税込〕



かくして彼女は宴で語る〜明治耽美派推理帖〜

宮内 悠介 著

幻冬舎

明治末期に実在した若き芸術家たちのサロン「パンの会」。隅田川沿いの料理店で木下杢太郎、北原白秋、石川啄木らが繰り広げる推理合戦に、謎めいた女中・あやのも加わって。『小説幻冬』連載を改題、加筆・修正し単行本化。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 312p
978-4-344-03899-8

¥1,870〔税込〕





人間は哀れである～東海林さだおアンソロジー～(ちくま文庫 し 9-14)

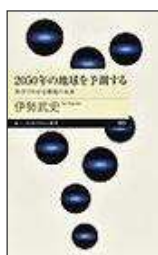
平松 洋子 編
東海林さだお 著
筑摩書房

偉い人の威厳をはぎ取ってみせる「人間は哀れである」、国語辞典の性観念を検証する「青春の辞典」など、平松洋子を選んだ、東海林さだおの傑作エッセイ全 23 篇を収録する。創作の背景に踏み込んだ著者と編者の対談も掲載。

朝日新聞 2022/02/20

2021:12./ 379p
978-4-480-43781-5

¥968〔税込〕



2050 年の地球を予測する～科学でわかる環境の未来～(ちくまプリマー新書 393)

伊勢 武史 著
筑摩書房

異常気象がほぼ毎年に? 伝染病が拡大、シロクマが絶滅する!? そうなる前に、ほんのわずかな兆候に気づき、対策することが大事。公害など環境科学の基礎知識から、地球温暖化で起こる未来とその対策までを解説する。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 174p
978-4-480-68418-9

¥858〔税込〕



ヘルシンキ 生活の練習

朴 沙羅 著
筑摩書房

2020 年の 2 月から、私はヘルシンキで仕事をするようになった。2 人の小さな子どもと移住した社会学者による、おもしろくてためになる、フィンランドからの現地レポート。

朝日新聞 2022/02/20

2021:11./ 275p.5p
978-4-480-81562-0

¥1,980〔税込〕



家(チベ)の歴史を書く

朴 沙羅 著
筑摩書房

「私の家族はいつどのように、どうして済州島から大阪へとやってきたのか。その後どうやって生きたのか」 気鋭の社会学者による、家族への親愛と歴史への洞察に満ちた、自身の家(チベ)の記録。

朝日新聞 2022/02/20

2018:9./ 317p
978-4-480-81848-5

¥1,980〔税込〕



黒後家蜘蛛の会<1> 新版(創元推理文庫 M ア 2-1)

アイザック・アシモフ、池 央耿 著
東京創元社

月に一度開かれる<黒後家蜘蛛の会>の晩餐会では、毎回不思議な謎が出題される。その謎を解くのは、万事控えめな給仕のヘンリーだった! SF 界の巨匠が著した、安楽椅子探偵ものの歴史に燦然と輝く連作推理短編集。

朝日新聞 2022/02/20

2018:4./ 377p
978-4-488-16709-7

¥968〔税込〕





さばの缶づめ、宇宙へいく〜鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち〜

小坂康之／林公代 著

イースト・プレス

宇宙食さば缶の開発はどのように始まり、幾多の困難を乗り越え、JAXA の正式認証を勝ち得て、宇宙に飛ばすことができたのか。福井県立若狭高校の生徒と、彼らの頑張りに引っ張られた大人たちが織り成したドラマを描く。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 205p
978-4-7816-2042-8

¥1,650〔税込〕



捨てない生きかた(マガジンハウス新書 001)

五木寛之 著

マガジンハウス

愛着ある“ガラクタ”は人生の宝物。モノが捨てられない、それもまたいいではないか。著者自身の「捨てない生活」から「この国が捨ててきたもの」までを語り、モノを捨てるのがブームとなっている現代社会に一石を投じる。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 197p
978-4-8387-7501-9

¥999〔税込〕



新 100 のきほん〜松浦弥太郎のベーシックノート〜(マガジンハウス新書 002)

松浦弥太郎 著

マガジンハウス

自分を知り、自分について考え、自分らしくいるために-。エッセイスト・松浦弥太郎が、自身にとっての「きほん 100」+仕事を通じて大切にしている「きほん 100」+αを紹介。自分の「100 のきほん」を書くページつき。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 231p
978-4-8387-7502-6

¥999〔税込〕



生き直す〜免田栄という軌跡〜

高峰 武 著

弦書房

1983 年、確定死刑囚から日本初の再審無罪となった免田栄。冤罪による 34 年間の獄中を生き抜いた彼が、再審無罪判決後の 37 年間の人生を、なぜ「生き直す」ことができたのか。稀有な人生を歩んだ、95 年の生涯をたどる。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 268p
978-4-86329-238-3

¥2,200〔税込〕



選挙活動、ビラ配りからやってみた。〜「香川 1 区」密着日記〜

和田 静香、小川 淳也 著

左右社

衆議院議員選挙が公示される前日から投票後まで、香川 1 区に立候補した小川淳也に密着。選挙活動の様子や、そこで見聞きしたことなどを、写真とともに綴る。note 連載を加筆修正。

朝日新聞 2022/02/20

2021:12./ 205p
978-4-86528-061-6

¥1,760〔税込〕





ケアとアートの教室

東京藝術大学 Diversity on the Arts プロジェクト 編

左右社

東京藝術大学生と社会人がともに学んだ「アート×福祉」プロジェクトの記録。

Diversity on the Arts Project(通称:DOOR)の講義 9 編のほか、対談、取材記事、論考等を収録。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 251p
978-4-86528-066-1

¥1,980〔税込〕



今だから!植木等〜“東宝クレージー映画”と“クレージー・ソング”の黄金時代〜

高田 雅彦 著

アルファベータブックス

かつて昭和の時代を明るく照らした植木等にスポットを当てる。「ニッポン無責任時代」など出演映画 7 本を選出、珍しい写真や封切当時の評価も紹介し、様々な角度から作品を分析する。小松政夫のインタビューなども収録。

朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 413p
978-4-86598-095-0

¥3,520〔税込〕



天使日記

寺尾 紗穂 著

スタンド・ブックス

自分の中の子供。目に見えぬもの。聞こえない声。長女が天使に出会った日から始まった、まぼろしのように、確かな日々の記録。『高知新聞』連載など、2017 年から 4 年ほどのあいだに書いたエッセイをまとめる。

朝日新聞 2022/02/20

2021:12./ 313p
978-4-909048-13-4

¥2,420〔税込〕



測量|山

吉田志穂／山本浩貴 著

T & M P r o j e c t s

インターネットで行きたい場所を探す。画面に映し出されるイメージを撮影し、その写真を持って実際の場所に足を運ぶ…。日本各地で見た現実と仮想のさまざまな山々。「山」をあらゆる角度から収集した写真集。

朝日新聞 2022/02/20

2021:11./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-909442-24-6

¥4,950〔税込〕



ポスト・サブカル焼け跡派

TVOD 著

百万年書房

いま、この国は焼け跡化しつつある-。ポスト・サブカル世代の 2 人が、矢沢永吉から星野源まで 70 年代以降の日本のポップミュージックの軌跡を辿り、「ナンバーワン」の日本が没落し、焼け跡化していく中で考えたことを語る。

朝日新聞 2022/02/20

2020:1./ 302p
978-4-910053-12-7

¥2,640〔税込〕



政治家失言クロニクル(ele-king books)

TVOD 著

P ヴァイン

政治家のいるところ、常に失言あり！ 戦争と憲法、核と原発、人権感覚の変化、テレビからネットへのメディアの移り変わりなど、失言をたどることで戦後日本が見えてくる！ 気鋭のカルチャー批評コンビがたどる戦後日本社会の変遷

朝日新聞 2022/02/20

2021:11./ 208p
978-4-910511-05-4

¥1,980〔税込〕



韓国カルチャー～隣人の素顔と現在～(集英社新書 1099)

伊東 順子 著

集英社

韓国カルチャーが世界で人気を博しているのは、それらが韓国社会の“いま”を巧妙に映し出す鏡であるから。近年話題となった小説、ドラマ、映画などのさまざまなカルチャーから、韓国のリアルな姿を考察する。

朝日新聞 2022/02/20、毎日新聞 2022/02/26、読売新聞 2022/02/27

2022:1./ 254p
978-4-08-721199-3

¥946〔税込〕



清朝と近代世界～19世紀～(岩波新書 新赤版)

吉沢 誠一郎 著

岩波書店

存亡の危機に直面しながらも、近代世界の中で自己変革を遂げた19世紀の清朝。何が体制の立て直しを可能にしたのか。その創造的な過程について、統治や社会の動向、周辺部の状況などもふまえ、多面的な世界を生き生きと描く。

朝日新聞 2022/02/26

2010:6./ 232p
978-4-00-431249-9

¥946〔税込〕



愛について～アイデンティティと欲望の政治学～(岩波現代文庫 学術 441)

竹村 和子 著

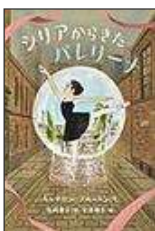
岩波書店

セクシュアリティをはじめとし、私的領域の深奥に秘匿されてきた事柄を鋭く分析。境界を攪乱し、「語りえぬもの」に声を与える政治と倫理の新たな地平を切り拓く。精緻な理論でフェミニズム批評を牽引しつづけた著者の代表作。

朝日新聞 2022/02/26

2021:12./ 6p,418p,5p
978-4-00-600441-5

¥1,782〔税込〕



シリアからきたバレリーナ

キャサリン・ブルートン 著

偕成社

ふるさとシリアでも、難民キャンプでも、イギリスでも、アーヤにはいつもバレエがあった。内戦を逃れ、海を渡った少女の再生の物語。イギリスの児童文学賞“カーネギー賞”ノミネート作品。

朝日新聞 2022/02/26

2022:1./ 302p
978-4-03-726960-9

¥1,650〔税込〕





わたくしがテピンギー～ハイチのおはなし～(女の子の昔話えほん)

中脇初枝 著

偕成社

テピンギーは、あたらしい母親と暮らしている女の子。ある日、知らないおじいさんの召使いにされそうになりますが、すてきなひらめきと友だちの助けで、ピンチを切り抜け…。ハイチに伝わる昔話。

朝日新聞 2022/02/26

2022:1./ 31p
978-4-03-960420-0

¥1,870〔税込〕



平安ガールフレンズ(角川文庫 さ 15-20)

酒井 順子 著

KADOKAWA

和歌の家に生まれながら「私は歌なんか詠まない」と宣言したロックな女・清少納言。感情をねっとり内に秘める紫式部。モテと才能と不幸とに恵まれた和泉式部…。千年前と今をつなぐ古典エッセイ。栗木京子との対談も収録。

朝日新聞 2022/02/26

2021:12./ 233p
978-4-04-111639-5

¥682〔税込〕



アメリカ音楽史～ミントレル・ショウ、ブルースからヒップホップまで～ (講談社選書メチエ 496)

大和田 俊之 著

講談社

アメリカのポピュラー音楽を社会とのかかわりにおいて考察し、さまざまな音楽ジャンルがどのように形成され、発展してきたかをたどる。音楽史そのものの“歴史化”の過程も詳らかにする。

朝日新聞 2022/02/26

2011:4./ 302p
978-4-06-258497-5

¥2,145〔税込〕



ミチクサ先生<上>

伊集院 静 著

講談社

夏目家の「恥かきっ子」金之助は、父親にガラクタ扱いされながらも、学校では異例の飛び級で頭角をあらわす。東京大学予備門に合格した金之助は、正岡子規と出会い…。夏目漱石の青春を描く。『日本経済新聞』連載を書籍化。

朝日新聞 2022/02/26

2021:11./ 301p
978-4-06-525722-7

¥1,870〔税込〕



ミチクサ先生<下>

伊集院 静 著

講談社

英語教師として赴任した熊本で鏡子を迎え、新婚生活を始めた金之助。英国留学の後、帝国大学の教師になり、高浜虚子の依頼で書いた「吾輩は猫である」が大評判となり…。夏目漱石の青春を描く。『日本経済新聞』連載を書籍化。

朝日新聞 2022/02/26

2021:11./ 291p
978-4-06-525743-2

¥1,870〔税込〕





文明の衝突<上>(集英社文庫 ハ 20-2)

サミュエル・ハンチントン、鈴木 主税 著

集英社

冷戦後の新たな国際紛争は「文明による衝突」だ。国際政治学者・ハンチントンが、21世紀の国際情勢を大胆に予測。アメリカ文明と中国文明の対立の中で、孤立する日本の未来を考える刺激的な書。

朝日新聞 2022/02/26

2017:8./ 318p
978-4-08-760737-6

¥924〔税込〕



文明の衝突<下>(集英社文庫 ハ 20-3)

サミュエル・ハンチントン、鈴木 主税 著

集英社

冷戦後の新たな国際紛争は「文明による衝突」だ。国際政治学者・ハンチントンが、21世紀の国際情勢を大胆に予測。アメリカ文明と中国文明の対立の中で、孤立する日本の未来を考える刺激的な書。

朝日新聞 2022/02/26

2017:8./ 286p
978-4-08-760738-3

¥924〔税込〕



もういちど、あなたと食べたい

筒井 ともみ 著

新潮社

おなが空くと、いつもあの人を思い出す。向田邦子、松田優作、樹木希林…。彼らと囲んだ味や匂いは、やがて名脚本家の肉となり血となった。食で辿る自叙伝。『小説新潮』『波』掲載等に書下ろしを加え単行本化。

朝日新聞 2022/02/26

2021:12./ 252p
978-4-10-380703-2

¥2,200〔税込〕



ジョン・ロールズ～社会正義の探究者～(中公新書 2674)

齋藤 純一／田中 将人 著

中央公論新社

「平等な自由」を重視する思想はいかに形成されたか。太平洋戦線への従軍体験、広島への原爆投下の記憶がロールズに与えた影響とは。最新資料から81年の生涯を捉え直し、思想の全体像を解説。その課題や今日的意義にも迫る。

朝日新聞 2022/02/26

2021:12./ 6p,246p
978-4-12-102674-3

¥924〔税込〕



民族自決と民族団結～ソ連と中国の民族エリート～

熊倉 潤 著

東京大学出版会

ソ連と中国の少数民族政策について、カザフ共和国と新疆ウイグル自治区を取り上げて比較。両国の制度的な差異、国家そのものの差異を明らかにし、崩壊した国家・ソ連と存続した国家・中国の本質に迫る。

朝日新聞 2022/02/26

2020:3./
6p,239p,129p
978-4-13-036278-8

¥8,360〔税込〕





平家物語 犬王の巻(河出文庫 ふ 5-3)

古川 日出男 著

河出書房新社

時は室町。天衣無縫の少年能楽師・犬王と、盲目の琵琶法師・友魚が育む友情は、かつて誰も見たことがない歌曲を鳴り響かせる。ふたりが奏でる最強のエンタメの行く末は…。アニメ映画「犬王」原作。

朝日新聞 2022/02/26

2021:12./ 209p
978-4-309-41855-1

¥693〔税込〕



ポスト社会主義の政治～ポーランド、リトアニア、アルメニア、ウクライナ、モルドヴァの準大統領制～(ちくま新書 1559)

松里 公孝 著

筑摩書房

時に暴力を伴う政治体制の変更はなぜ繰り返されるのか。ポスト社会主義圏に多く見られる準大統領制に焦点を当て、地政学的対立とポピュリズムに翻弄された激動のソ連崩壊後の 30 年を、大統領・議会・首相の関係から読み解く。

朝日新聞 2022/02/26

2021:3./ 376p
978-4-480-07380-8

¥1,210〔税込〕



政治的リベラリズム

ジョン・ロールズ 著

筑摩書房

相対立する多様な世界観によって分断された人びとの間に、どうすれば正義にかなった社会を築くことができるか。「正義論」での<公正としての正義>の構想をみずから修正し、答える、ジョン・ロールズのもうひとつの名著。

朝日新聞 2022/02/26

2022:1./
69p,597p,24p
978-4-480-86737-7

¥6,930〔税込〕



新しい国境新しい地政学

クラウス・ドッズ 著

東洋経済新報社

気候変動による海や河川の変化は「境界線」を移動させるのか? 「スマートボーダー」は収益性の高い国境ビジネスを生み出すのか? 「人新世」が揺さぶる「国境」の概念や、迫り来る「国境紛争」の類型などを解説する。

朝日新聞 2022/02/26

2021:12./ 373p,9p
978-4-492-44464-1

¥2,860〔税込〕



歴史を動かした重要文書～ヴィジュアル版～

ピーター・スノウ／アン・マクミラン 著

原書房

世界中の国立公文書館、博物館、図書館、個人のコレクションから集められた、政治・軍事・芸術・科学の各分野における 50 の重要文書を取り上げ、歴史的位置付けや意義、後世への影響などを詳しく解説。カラー図版も多数収録。

朝日新聞 2022/02/26

2022:1./ 229p
978-4-562-05975-1

¥3,300〔税込〕





フランスに学ぶジェンダー平等の推進と日本のこれから～パリテ法制定 20 周年をこえて～

富士谷 あつ子／新川 達郎 著

明石書店

政治分野における男女均等参画をはかる「パリテ法」。その成果と課題について、長い歴史をもつフランスの取り組みや各国の事例を紹介し、日本における女性への社会的処遇の改善を提言する。

朝日新聞 2022/02/26

2022:1./ 312p
978-4-7503-5324-1

¥3,080〔税込〕



ゾウが教えてくれたこと～ゾウオロジーのすすめ～(DOJIN 選書 092)

入江 尚子 著

化学同人

地上最大の哺乳類、ゾウ。その進化の過程や体のつくり、野生での暮らしぶり、知能など、知っているようで知らないゾウの魅力を、ゾウ愛にあふれる著者があたたかな筆致で語り尽くす。

朝日新聞 2022/02/26

2021:12./ 185p
978-4-7598-1690-7

¥1,650〔税込〕



清少納言がみていた宇宙と、わたしたちのみている宇宙は同じなのか?～新しい博物学への招待～

池内了 著

青土社

清少納言が「枕草子」で描いた「すばる」は現在観測するものと同じみえ方をしていたのか? 古代中国のブランコはどのようにして動いていたのか? 科学者の眼で古今東西の文章を渉猟する、サイエンス・エッセイ。

朝日新聞 2022/02/26

2021:12./ 270p
978-4-7917-7440-1

¥1,980〔税込〕



愛国とボイコット～近代中国の地域的文脈と対日関係～

吉澤 誠一郎 著

名古屋大学出版会

激しい対日ボイコットはなぜ繰り返されたのか。それぞれの運動が生じた異なる地域事情と利害・思想を詳らかにするとともに、それらが愛国主義へとつながっていくメカニズムや、中国ナショナリズムの実像を捉える。

朝日新聞 2022/02/26

2021:11./
8p,282p,22p
978-4-8158-1048-1

¥4,950〔税込〕



ゾウとともだちになったきっちゃん

入江尚子 著

福音館書店

動物園でゾウと出会ったきっちゃんは、ゾウのことが大好きになりました。何度も動物園にやってきて、ゾウのチャンボムに話しかけ続けていました。すると、チャンボムもきっちゃんにお返事をしてくれるように....

朝日新聞 2022/02/26

2020:9./ 44p
978-4-8340-8565-5

¥1,430〔税込〕





ケケと半分魔女～魔女の宅急便特別編 その3～(福音館創作童話シリーズ)

角野栄子 著

福音館書店

ケケが描く、物語の主人公の名前はタタ。4歳のときに母親をなくしたこともあって、いつも自分は半分だと心もとなく思っているタタは、ある日とつぜんひとり旅立つ決心をし…。『魔女の宅急便』スピンオフ・シリーズ第3弾。

朝日新聞 2022/02/26

2022:1./ 245p
978-4-8340-8643-0

¥1,650〔税込〕



* 9 7 8 4 8 3 4 0 8 6 4 3 0 *



当世好き嫌い人物事典

佐高信 著

旬報社

好きと嫌いとは立場や思想を越える。立場は同じでも好きになれない人もいるし、思想は違っても気になる人もいる…。評論家・佐高信が、多士済々の人物 124 人を鋭く、あたたかく描いた人物事典。メルマガ連載をまとめたもの。

朝日新聞 2022/02/26

2022:2./ 382p
978-4-8451-1740-6

¥1,980〔税込〕



* 9 7 8 4 8 4 5 1 1 7 4 0 6 *



虚子点描

矢島 渚男 著

紅書房

近代俳句界の巨人・高浜虚子。その起伏にとんだ生涯と数々の名句を紹介。句作を始めた 17 歳から 85 歳で亡くなるまでの 306 句を、明治?昭和の時代の流れの中で鑑賞し、吟味し、考察する。俳誌『梟』連載をもとに書籍化。

朝日新聞 2022/02/27、毎日新聞 2022/02/28

2022:1./ 253p
978-4-89381-349-7

¥2,420〔税込〕



* 9 7 8 4 8 9 3 8 1 3 4 9 7 *



哲学の蠅

吉村 萬壺 著

創元社

人間存在の根源的な部分を抉り出し、現実への違和感を物語に託して世に放つ異端の小説家・吉村萬壺が、デビュー 20 年の節目に著す初の自伝的エッセイ。血肉としてきた哲学書を取り上げ、生きることそれ自体の意味を問う。

東京・中日新聞 2022/02/06

2021:11./ 295p
978-4-422-93090-9

¥2,200〔税込〕



* 9 7 8 4 4 2 2 9 3 0 9 0 9 *



クダン狩り～予言獣の影を追いかけて～

東 雅夫 著

現代書館

その予言は必ず当たるといわれる人面牛身の妖獣クダンの伝説を日本各地に追った、怪談文芸の第一人者によるクダン論を集大成。クダン文学の傑作、内田百閒「件」と小松左京「くだんのはは」も収録する。

東京・中日新聞 2022/02/06

2021:12./ 190p
978-4-7684-7988-9

¥1,870〔税込〕



* 9 7 8 4 7 6 8 4 7 9 8 8 9 *



自分がおじいさんになるということ

勢古 浩爾 著

草思社

だれに気兼ねをすることも無い。もう自由に生きていいのである。押しも押されぬ老人になった著者が、お金も健康も心もとないながらも、思いのほか楽しい「老いのリアルな日々」をつぶさに綴る。

東京・中日新聞 2022/02/06

2021:12./ 228p
978-4-7942-2554-2

¥1,540〔税込〕



戦後革新の墓碑銘

中北浩爾 編

高木郁朗 著

旬報社

1945年8月15日に始まる日本の現代史の形成に、大きな役割を果たした「戦後革新」。一体それはなにものであったのか。社会党と総評、戦後革新の中心にいた著者によるたぐいまれな歴史的証言であり自伝。

東京・中日新聞 2022/02/06

2021:12./ 246p
978-4-8451-1730-7

¥1,980〔税込〕



我が友、スミス

石田 夏穂 著

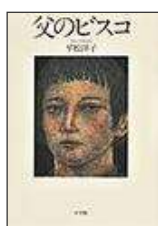
集英社

U野は筋トレに励む会社員。自己流のトレーニングをしていたところ、O島からボディ・ビル大会への出場を勧められる。大会で結果を残すには筋肉のみならず「女らしさ」も鍛えなければならず…。『すばる』掲載に加筆修正。

東京・中日新聞 2022/02/12

2022:1./ 139p
978-4-08-771788-4

¥1,540〔税込〕



父のビスコ

平松 洋子 著

小学館

父の死に接してから、かつて過ごした倉敷の時間や場所がいっそう親しく身近にまわりつくようになった。平松洋子の自伝的エッセイ集。『本の窓』連載を単行本化。「旅館くらしき」創業者・畠山繁子による随筆も収録。

東京・中日新聞 2022/02/13

2021:10./ 331p
978-4-09-388841-7

¥1,870〔税込〕



マザー・マダー

矢樹純 著

光文社

息子を溺愛し、学校や近隣でトラブルを繰り返す母親。家から一步も出ず、姿を見せない息子。“最愛の息子”は本当に存在しているのか。企みと驚きに満ちた傑作ミステリ。『ジャーロ』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2022/02/13

2021:12./ 251p
978-4-334-91436-3

¥1,760〔税込〕





手づくりのアジール～「土着の知」が生まれるところ～

青木真兵 著

晶文社

市場原理主義や高度なテクノロジーに飲み込まれない生き方をするには、社会のなかでの「アジール(避難所)」を確保することが必要。私設図書館主宰者と若手研究者たちの対談を通じて、「土着の知性」の可能性を考える。

東京・中日新聞 2022/02/13

2021:11./ 253p
978-4-7949-7282-8

¥1,980〔税込〕



現代アメリカ文学ポップコーン大盛

青木耕平／加藤有佳織／里内克巳／佐々木楓／日野原慶／藤井光／矢倉喬士／吉田恭子 著

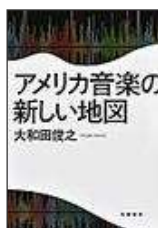
書肆侃侃房

多くの潮流が同時多発的に渦巻いている現代アメリカ文学。専門領域も趣味嗜好もバラバラなアメリカ文学研究者 8 名が、各自の好奇心と知的関心のままに現代アメリカ文学を語る。座談会も収録。『web 侃侃』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2022/02/19

2020:12./ 375p
978-4-86385-431-4

¥1,980〔税込〕



アメリカ音楽の新しい地図

大和田 俊之 著

筑摩書房

トランプ大統領の下、加速度的に分断が進行したアメリカ。音楽をめぐる環境も激変する中で、テイラー・スウィフト、ブルーノ・マーズ、チャンス・ザ・ラッパー、BTS などポップアイコンたちの様々な闘いの軌跡を追う。

東京・中日新聞 2022/02/19、朝日新聞 2022/02/26

2021:12./ 240p,4p
978-4-480-87409-2

¥1,760〔税込〕



ビデオランド～レンタルビデオともうひとつのアメリカ映画史～

ダニエル・ハーバート 著

作品社

銀幕を包んだ闇を抜け出し、映画の新たな「配給網」となったレンタルビデオ店。その創世から終幕、そして「配信」の現在へとつづく「もうひとつのアメリカ映画史」を、映画産業についての専門的な知見なども織り交ぜて綴る。

東京・中日新聞 2022/02/19、日本経済新聞 2022/02/26

2021:12./ 381p
978-4-86182-875-1

¥3,740〔税込〕



人間と宗教あるいは日本人の心の基軸

寺島 実郎 著

岩波書店

物質的繁栄を最優先し、「宗教なき社会」を築いた戦後日本。しかし 20 世紀型の工業生産力モデルは力を失い、コロナ禍の下、日本の埋没は著しい。日本人の精神性とは何か、世界を歩いてきた経済人がいま問い返す。

東京・中日新聞 2022/02/20

2021:11./ 20p,276p
978-4-00-061505-1

¥2,200〔税込〕





誰かがこの町で

佐野 広実 著

講談社

郊外の瀟洒な住宅街で、19年前に起きた一家失踪。謎の解明の前に立ちはだかったのは、忖度、同調圧力、自己保身、理由のわからない排除。そして事件は連鎖し…。日本中で起きているかもしれない惨劇の根源を追うサスペンス。

東京・中日新聞 2022/02/20

2022:1./ 355p
978-4-06-526029-6

¥1,925〔税込〕



松野家の荒物生活〜誠実な道具が支える東京・下町の“ナイスな暮らし”〜

松野 弘／松野 きぬ子 著

小学館

東京下町にある1945年創業の荒物卸問屋、松野屋。店主夫妻の、ペターでもベストでもなく“ナイス”な道具を愛する暮らしを写真とともに紹介し、毎日を機嫌良く過ごすヒントを伝える。

東京・中日新聞 2022/02/20

2021:12./ 159p
978-4-09-307009-6

¥2,090〔税込〕



世界を変えた100のポスター<上> 1651-1936年

コリン・ソルター 著

原書房

アールデコ、商業広告、戦争プロパガンダ、社会政策、映画など過去300年の傑作ポスターとその背景にある物語を解説する。上は、1651年の指名手配ポスターから、1936年のスペイン内戦ポスターまで収録。

東京・中日新聞 2022/02/20

2021:12./ 221p
978-4-562-05972-0

¥2,640〔税込〕



世界を変えた100のポスター<下> 1939-2019年

コリン・ソルター 著

原書房

アールデコ、商業広告、戦争プロパガンダ、社会政策、映画など過去300年の傑作ポスターとその背景にある物語を解説する。下は、1939年のパンアメリカン航空のポスターから、2019年のXR団体のポスターまで収録。

東京・中日新聞 2022/02/20

2021:12./ 221p
978-4-562-05973-7

¥2,640〔税込〕



アダム・スミス共感の経済学

ジェシー・ノーマン 著

早川書房

近代経済学の父として知られるアダム・スミスの本格的評伝。彼の思想の成り立ちをその生涯から解き明かすとともに、経済学から政治学、心理学にまで広がる思想的影響を俯瞰。様々な課題に直面する現代へのヒントを提示する。

東京・中日新聞 2022/02/27

2022:2./ 458p
978-4-15-210085-6

¥3,960〔税込〕





最後の砦となれ～新型コロナから災害医療へ～

大岩 ゆり 著

中日新聞社

救急患者は絶対に断らない。新型コロナウイルスとの闘いに挑んだ藤田医科大学取材した医療ドキュメンタリー。ダイヤモンド・プリンセス号の乗客・乗員受け入れをはじめ、大規模ワクチン接種など、今なお続く闘いを伝える。

東京・中日新聞 2022/02/27

2022:2./ 255p
978-4-8062-0790-0

¥1,650〔税込〕



* 9 7 8 4 8 0 6 2 0 7 9 0 0 *



私説春日井建～終わりなき反逆～

荒川晃 著

短歌研究社

春日井建 19 歳、著者 20 歳。同じ魂をもつ 2 人の邂逅。三島由紀夫が「現代の定家」と評した春日井建の短歌に出会い、初めて建の家を訪ねた日から建の死去まで、生涯の親友の視点から、天才の志したものを語る。

東京・中日新聞 2022/02/27

2022:1./ 229p
978-4-86272-694-0

¥2,200〔税込〕



* 9 7 8 4 8 6 2 7 2 6 9 4 0 *



貧困と飢饉(岩波現代文庫)

アマルティア・セン、黒崎 卓、山崎 幸治 著

岩波書店

食料があるのに、人はなぜ飢えるのか？世界各地の「大飢饉」の原因は、食料供給量の不足ではなく人々が食料を入手する能力と資格の？奪にあることを実証した画期的な書。原書刊行後の研究成果をまとめた講演も併録。

読売新聞 2022/02/06

2017:7./
20p,348p,56p
978-4-00-600366-1

¥1,694〔税込〕



* 9 7 8 4 0 0 6 0 0 3 6 6 1 *



「檄文」の日本近現代史～二・二六から天皇退位のおことばまで～(朝日新書 839)

保阪 正康 著

朝日新聞出版

訴状、蹶起趣意書、遺書など、歴史に残る檄文に秘められた意図と歴史的評価の違いを浮かび上がらせ、新たな視点から現代史を精緻な筆致で読み解く。平成天皇の退位の御言葉など印象に残る平成のメッセージについても論じる。

読売新聞 2022/02/06

2021:10./ 332p
978-4-02-295143-4

¥1,001〔税込〕



* 9 7 8 4 0 2 2 9 5 1 4 3 4 *



おうち野菜づくり～キッチンからはじめる!日本一カンタンな家庭菜園の入門本～

宮崎 大輔 著

KADOKAWA

スーパーで買った野菜の切れ端を育てて再収穫! 再生栽培の基本的な手順、栽培に使える 100 均アイテムや身のまわりの日用品を紹介し、41 種の野菜、くだもの、ハーブ、スプラウトの育て方をイラストで解説する。

読売新聞 2022/02/06

2021:10./ 143p
978-4-04-605401-2

¥1,760〔税込〕



* 9 7 8 4 0 4 6 0 5 4 0 1 2 *



万国お菓子物語～世界をめぐる 101 話～(講談社学術文庫 2696)

吉田 菊次郎 著

講談社

政略結婚によってフランスへ伝わったマカロン、名称をめぐる裁判にまで発展したザッハートルテ、大航海時代にポルトガルから日本へやってきたカステラ…。名店「ブルーミッシュ」の創業者が綴る、お菓子 101 の誕生秘話。

読売新聞 2022/02/06

2021.12./ 281p
978-4-06-526571-0

¥1,265〔税込〕



紙の動物園(ハヤカワ文庫 SF 2121)

古沢 嘉通 編

ケン・リュウ 著

早川書房

泣き虫だったぼくに、母さんが包装紙で作ってくれた虎や水牛は、みな命を吹き込まれて生き生きと動きだした。魔法のような母さんの折り紙だけがずっとぼくの友達だった…。表題作ほか全 7 篇を収録。

読売新聞 2022/02/06

2017.4./ 263p
978-4-15-012121-1

¥748〔税込〕



青嵐の庭にすわる～「日日是好日」物語～

森下 典子 著

文藝春秋

映画「日日是好日」の原作者・森下典子は茶道指導スタッフとして映画づくりに参加することに。その制作現場は「人生初の事件」ともいえるべき不思議と驚きに満ちていた-。『茶道雑誌』連載を単行本化。

読売新聞 2022/02/06

2021.11./ 222p
978-4-16-391471-8

¥1,650〔税込〕



海坂藩に吹く風～藤沢周平を読む～

湯川 豊 著

文藝春秋

「?しぐれ」「三屋清左衛門残日録」「橋ものがたり」など、数々の名作を残した藤沢周平。いまなお多くの人々をひきつけるその魅力に迫る。藤沢周平年譜・作品リストも掲載。

読売新聞 2022/02/06

2021.12./ 286p
978-4-16-391478-7

¥1,980〔税込〕



教育

遠野 遥 著

河出書房新社

勝てば天国、負ければ地獄の規律と欲望が渦巻く学校。私の幸せは、正しいのか? 芥川賞受賞作家が人間の倫理を問う、ハレンチ×超能力×ディストピア長編。『文藝』掲載を単行本化。

読売新聞 2022/02/06

2022.1./ 245p
978-4-309-03014-2

¥1,760〔税込〕





ヌマヌマ〜はまったら抜けだせない現代ロシア小説傑作選〜

ミハイル・シーシキン 著

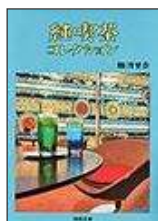
河出書房新社

英雄ガガーリンの母が<地球の心臓部>に突き進む「空のかなたの坊や」、謎の作家が体験する鏡の中の世界を描く「トロヤの空の眺め」…。ユニークかつオリジナルな 12 編を収録した、現代ロシア小説のアンソロジー。

読売新聞 2022/02/06

2021.10./ 339p
978-4-309-20840-4

¥3,520〔税込〕



純喫茶コレクション(河出文庫 な 49-1)

難波 里奈 著

河出書房新社

キラキラ輝くクリームソーダ、ふわふわのホットケーキ、自家焙煎の珈琲、ゴージャスなシャンデリア、マスターとの楽しいおしゃべり…。東京喫茶店研究所二代目所長が厳選した喫茶店 81 軒を紹介する。

読売新聞 2022/02/06

2022.1./ 185p
978-4-309-41864-3

¥990〔税込〕



偽証〜模倣された若妻刺殺事件〜

石田隆一 著

牧歌舎東京本部

都内郊外の新興住宅街の一角で若い主婦が殺害された。幾重にも重ねられた「模倣」。単純に思われた殺人事件が次第に様相を変えていく。平穏に見えた家族の均衡はあっけなく崩壊し…。現代人の暗部・恥部を暴くミステリー。

読売新聞 2022/02/06

2021.12./ 384p
978-4-434-29392-4

¥1,760〔税込〕



父親になるということ(ちくま文庫 ふ 29-21)

藤原 和博 著

筑摩書房

会社でのルールやリズム、大人の常識や思い込みを、家庭や子育てに無意識に持ち込んで子どもを犠牲にしていないだろうか。成熟社会(=正解のない時代)の父親像を示す。宮台真司による文庫版特典エッセイ付き。

読売新聞 2022/02/06

2021.12./ 292p
978-4-480-43784-6

¥880〔税込〕



良心の自由〜アメリカの宗教的平等の伝統〜

マーサ・ヌスバウム、河野 哲也、木原 弘行 著

慶應義塾大学出版会

良心の自由と平等を守る「アメリカの伝統」の揺籃期から、それが合衆国憲法へと結実し、現在へと至るまでの歴史を分析。アメリカが建国当初に持っていた宗教的自由・平等を、リベラリズムの観点から力強く擁護する。

読売新聞 2022/02/06

2011.10./ 558p,71p
978-4-7664-1814-9

¥5,720〔税込〕





生活の豊かさをどう捉えるか～生活水準をめぐる経済学と哲学の対話～

ジェフリー・ホーソン 編

アマルティア・セン／ジョン・ミュールパウアー／ラヴィ・カンブール／キース・ハート／バーナード・ウィリアムズ 著

晃洋書房

アマルティア・センが1985年に行ったタナー・レクチャーを書籍化。センの2つの講演、ジョン・ミュールパウアーら4名の討論者からのコメント、センからのリプライで構成。訳者解説、アマルティア・セン邦訳書リスト付き。

読売新聞 2022/02/06

2021:12./
7p,211p,15p
978-4-7710-3541-6

¥3,520〔税込〕



ペイント

イ・ヒョン 著

イースト・プレス

少子化が限界を越え、「人口絶壁」状態となった近未来。国は少子化対策として、親に代わって国が子どもを養育するセンターを設立し…。“子どもが親を選べるとしたら”という人類の究極のIFに挑んだティーン小説。

読売新聞 2022/02/06

2021:11./ 235p
978-4-7816-2023-7

¥1,650〔税込〕



西南戦争のリアル 田原坂(シリーズ「遺跡を学ぶ」 153)

中原 幹彦 著

新泉社

西南戦争の最大の激戦となった田原坂の戦いは従来、伝聞や伝承などのイメージばかりが先行して、戦いの実相はよくわかっていなかった。考古学的調査などから具体的な戦いの実態をあぶり出し、リアルな田原坂を追究する。

読売新聞 2022/02/06

2021:12./ 93p
978-4-7877-2133-4

¥1,760〔税込〕



ウーバー戦記～いかにして台頭し席卷し社会から憎まれたか～

マイク・アイザック 著

草思社

成長するか、消えてなくなるか。創業からわずか数年でGAFAにつぐハイテク企業に成長した配車&デリバリーサービスのウーバー。勝ちつづけることに憑かれた創業者トリス・カラニックの半生とウーバーの闘争の全貌を描く。

読売新聞 2022/02/06

2021:12./ 580p
978-4-7942-2555-9

¥3,300〔税込〕



ブラックボックス

砂川 文次 著

講談社

ずっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている。自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。自転車便のメッセンジャー、サクマは都内を今日もひた走る。『群像』掲載を単行本化。

読売新聞 2022/02/06、産経新聞 2022/02/20、朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 161p
978-4-06-527365-4

¥1,705〔税込〕





古代中国の24時間～秦漢時代の衣食住から性愛まで～(中公新書 2669)

柿沼 陽平 著

中央公論新社

口臭にうるさく、女性たちはイケメンに熱狂、酒に溺れ、食欲に性を愉しみ…。気鋭の中国史家が文献史料と出土資料をフル活用し、服装・食卓・住居から宴会・性愛・育児まで、古代中国の1日24時間を再現する。

2021:11./ 324p
978-4-12-102669-9

¥1,056〔税込〕



読売新聞 2022/02/06、朝日新聞 2022/02/26



敗北を抱きしめて～第二次大戦後の日本人～<上> 増補版

ジョン・ダワー／三浦 陽一／高杉 忠明 著

岩波書店

敗戦の惨状の中を歩み始めた民衆は、「平和と民主主義」への願いを抱きしめて、上からの革命に力強く呼応した。奇蹟的な「敗北の物語」を描いた二十世紀の叙事詩。ピューリッツァー賞受賞作品。2001年刊の増補版。

2003:11./ 29,379p
978-4-00-024420-6

¥3,080〔税込〕



読売新聞 2022/02/13



敗北を抱きしめて～第二次大戦後の日本人～<下> 増補版

ジョン・ダワー／三浦 陽一／高杉 忠明 著

岩波書店

天皇制を抱擁し、憲法を骨抜きにし、戦後改革の巻き戻しに道をつけて、占領軍は去った。日米合作の「戦後」がここに始まる。ピューリッツァー賞受賞作。大量の図版を追加した、2001年刊の増補版。

2003:11./ 9,455,9p
978-4-00-024421-3

¥3,190〔税込〕



読売新聞 2022/02/13



私が進化生物学者になった理由(岩波現代文庫 学術 440)

長谷川 眞理子 著

岩波書店

生き物図鑑とドリトル先生の大好きな少女が、いかにして進化生物学者になったのか。通説の誤りに気づき、独自の道を切り拓いた人生の歩みを語る。人間の進化と適応に関する興味深い話も紹介。

2021:12./ 4p,253p
978-4-00-600440-8

¥1,276〔税込〕



読売新聞 2022/02/13



詩とは何か(講談社現代新書 2641)

吉増 剛造 著

講談社

現代における「詩」の本質とは何か。詩のほんとうの「しぐさ」とは。現代最高峰の詩人のひとり、吉増剛造が60年の詩業の果てに辿り着いた境地を、縦横無尽に語り尽くす。Q&Aも収録。

2021:11./ 315p
978-4-06-518827-9

¥1,210〔税込〕



読売新聞 2022/02/13



谷中びんづめカフェ竹善〜猫とジャムとあなたの話〜(集英社オレンジ文庫 た3-2)

竹岡 葉月 著
集英社

谷中に住む女子大生の紬は、実家から送られた野菜を消費できず、捨てようとしたところを謎の白人男性にとがめられる。保存食を提供するカフェの店主だという彼の手で、持て余した野菜が次々に絶品料理に変わっていき…。

読売新聞 2022/02/13

2019:5./ 271p
978-4-08-680253-6

¥649〔税込〕



母さん、ごめん。〜50代独身男の介護奮闘記〜(集英社文庫 ま35-1)

松浦 晋也 著
集英社

男一匹、ガチンコで認知症の母を見る。思い知ったのは、“男の子”が母の介護を行うことの難しさだった。科学ジャーナリストの実体験に基づく介護対策が満載の奮闘記。ジェーン・スーとの対談も収録。

読売新聞 2022/02/13

2022:1./ 265p
978-4-08-744345-5

¥682〔税込〕



不村家奇譚〜ある憑きもの一族の年代記〜

彩藤 アザミ 著
新潮社

「水憑き」の血を受け継ぐ不村家では、数代に一度、生前に躰を「お納め」した子が生まれ…。一族の哀しき運命とは？そして、禁忌とされる怪異・あわこさまとは？血と畏れが織りなすホラーミステリ。

読売新聞 2022/02/13

2021:11./ 278p
978-4-10-338013-9

¥2,200〔税込〕



最後のライオニ〜韓国パンデミック SF 小説集〜

キム・チョヨプ／デュナ／チョン・ソヨン／キム・イファン／ペ・ミョンフン／イ・ジョンサン 著
河出書房新社

人類が感染症で絶滅し、機械が支配する惑星の探査を命じられ…。飛沫の飛散を避けるため、韓国語から激音と破裂音が消え…。表題作をはじめ、感染症の流行がテーマの作品全6編を収録した韓国 SF アンソロジー。

読売新聞 2022/02/13

2021:12./ 212p
978-4-309-20844-2

¥2,145〔税込〕



デカメロン・プロジェクト〜パンデミックから生まれた29の物語〜

ニューヨーク・タイムズ・マガジン 編
マーガレット・アトウッド 著
河出書房新社

悲しい記憶を洗い流すエッセ、宇宙から派遣された謎のタコ型エイリアン、ロックダウン解除後の世界…。ペスト禍で紡がれた名作「デカメロン」にならい、ユニークな視点と着想で書き下ろされた個性派アンソロジー。

読売新聞 2022/02/13

2021:11./ 344p
978-4-309-20845-9

¥3,135〔税込〕





歩道橋の魔術師(河出文庫 コ 10-1)

呉 明益 著
河出書房新社

1980 年代初頭、台北。物売りが立つ歩道橋には、子供たちに不思議なマジックを披露する「魔術師」がいた。今はなき「中華商場」とそこに生きた人々のささやかなエピソードを紡ぐ連作短編集。単行本未収録短編も収録。

読売新聞 2022/02/13

2021:11./ 289p
978-4-309-46742-9

¥1,078〔税込〕



* 9 7 8 4 3 0 9 4 6 7 4 2 9 *



下北沢であの日の君と待ち合わせ

神田茜 著
光文社

ごめんね、って言えばよかった。言えなかった。実在した人気パン屋「アンゼリカ」を舞台に、下北沢に 30 年在住の著者が描く過去と今。80 年代の下北沢の空気感を愛する大人の読者へ向けた、ノスタルジー溢れる青春小説。

読売新聞 2022/02/13

2021:12./ 272p
978-4-334-91439-4

¥1,760〔税込〕



* 9 7 8 4 3 3 4 9 1 4 3 9 4 *



わたしたちは銀のフォークと薬を手にして(幻冬舎文庫 し-33-3)

島本 理生 著
幻冬舎

仕事熱心な OL 知世の楽しみは、仕事で出会った年上のエンジニア・椎名さんとの月 2 のデート。美味しいものを一緒に食べるだけの関係だったが、ある日、彼が抱える秘密を打ち明けられ…。行方のわからない大人の恋を描く。

読売新聞 2022/02/13

2020:4./ 310p
978-4-344-42966-6

¥693〔税込〕



* 9 7 8 4 3 4 4 4 2 9 6 6 6 *



ろうと手話～やさしい日本語がひらく未来～(筑摩選書 0223)

吉開 章 著
筑摩書房

日本語とは別の言語であり、ろう教育においては長く禁止されていた手話。聴覚障害で生きづらさを感じている人たちの事情や歴史的背景を紹介し、手話にも対応する社会実現に向けた活動への協力を呼びかける。

読売新聞 2022/02/13

2021:11./ 206p
978-4-480-01739-0

¥1,650〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 0 0 1 7 3 9 0 *



ぼくたちは習慣で、できている。 増補版(ちくま文庫 さ 48-2)

佐々木 典士 著
筑摩書房

才能は「与えられる」ものではなく、努力を続けた後に「作られる」もので、努力は習慣にしまえば継続できる。習慣を身につけるための 55 のステップを紹介し、意志力や習慣とは何かを解説する。

読売新聞 2022/02/13

2022:1./ 345p
978-4-480-43782-2

¥858〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 7 8 2 2 *



「ぴえん」という病～SNS 世代の消費と承認～(扶桑社新書 420)

佐々木チワワ 著

扶桑社

歌舞伎町に足を運び、ホストやアイドルといった存在を「推す」Z世代のカルチャーと価値観を社会的アプローチとして、「ぴえん」という言葉を基軸に記述する。漫画家・真鍋昌平との対談も収録。『SPA!』連載を書籍化。

2021:12./ 191p
978-4-594-09026-5

¥902〔税込〕



読売新聞 2022/02/13



ことばの起源～猿の毛づくろい、人のゴシップ～

ロビン・ダンバー 著

青土社

猿の集団が大きくなって毛づくろいができなくなったとき、それに代わるコミュニケーション手段として生まれたのが人間の「ゴシップ=言語」だった。生物学、人類学などの最新成果を踏まえ、ことばの進化の歴史を根底から覆す。

2016:7./ 295p,28p
978-4-7917-6940-7

¥3,080〔税込〕



読売新聞 2022/02/13



なぜ私たちは友だちをつくるのか～進化心理学から考える人類にとって一番重要な関係～

ロビン・ダンバー 著

青土社

ダンバー数(友だちの上限は約 150 人)を提唱した著者が、進化心理学、人類学、脳科学などの様々な分野の最新知見をもとに、私たちにとって「友だち」が欠かすことの出来ないものであることを明らかにする。

2021:11./ 447p,7p
978-4-7917-7427-2

¥3,080〔税込〕



読売新聞 2022/02/13



「欲しい!」はこうしてつくられる～脳科学者とマーケターが教える「買い物」の心理～

マット・ジョンソン／プリンス・ギューマン 著

白揚社

なぜ広告の時計の針は、10時10分を指しているのか。なぜファストフード店のロゴは、赤と黄色なのか。かしこく買い物するために知っておきたい行動経済学や心理学、マーケティングを、わかりやすく解説する。

2022:1./ 373p,30p
978-4-8269-0234-2

¥2,750〔税込〕



読売新聞 2022/02/13



ハエトリグモハンドブック

須黒 達巳 著

文一総合出版

日本のハエトリグモ約 100 種の識別図鑑。雄、雌、変異個体を実物大・白背景写真で掲載し、全種で類似種と、その識別ポイントを詳細に解説する。新種候補やタイのハエトリグモも収録。

2017:6./ 144p
978-4-8299-8149-8

¥1,980〔税込〕



読売新聞 2022/02/13



イタリア・ルネサンスの世界

アリソン・ブラウン 著

論創社

「近代の曙ルネサンス」というブルクハルト以来の価値づけと、ヴァザーリ以来のフィレンツェ中心主義に揺さぶりをかける。＜交換＞概念を時代解明の鍵にルネサンスを一つの包括的時代として指し示す。

読売新聞 2022/02/13

2021:11./ 270p
978-4-8460-2070-5

¥3,080〔税込〕



* 9 7 8 4 8 4 6 0 2 0 7 0 5 *



フェイドアウト〜日本に映画を持ち込んだ男、荒木和一〜

東龍造 著

幻戯書房

明治 29(1896)年。大阪の心斎橋からニューヨークにやってきた日本人青年は、商談のために発明王エジソンに会い…。ヴァイタスコープ、シネマトグラフなど、映写機を初めて日本に輸入した荒木和一の生涯を描いた小説。

読売新聞 2022/02/13

2021:12./ 285p
978-4-86488-236-1

¥1,980〔税込〕



* 9 7 8 4 8 6 4 8 8 2 3 6 1 *



医者がすすめるクッキングリハビリ

丸田 淳司／小原 由紀／萱島 裕美／合馬 慎二 著

海鳥社

料理を通してリハビリを！料理は、無意識のうちにたくさんの筋肉を使用している。料理の工程ごとに、どの筋肉を使っているのか、どんな感覚を使って脳のどこを刺激しているのかなどを説明。プロセス写真付きのレシピも掲載。

読売新聞 2022/02/13

2021:9./ 104p
978-4-86656-105-9

¥1,980〔税込〕



* 9 7 8 4 8 6 6 5 6 1 0 5 9 *



ジョン・レノン最後の3日間

ジェイムズ・パターソン 著

祥伝社

音楽を通して、いまでも世界に影響を与え続けているジョン・レノン。その命を奪ったマーク・チャップマン。音楽史上最大の事件はなぜ起きたのか。関係者への独占インタビューを盛り込み、2人の男のストーリーを描く。

読売新聞 2022/02/13、読売新聞 2022/02/13

2021:12./ 521p,10p
978-4-396-61772-1

¥2,970〔税込〕



* 9 7 8 4 3 9 6 6 1 7 7 2 1 *



図鑑を見ても名前がわからないのはなぜか？～生きものの“同定”でつまづく理由を考えてみる～

須黒 達巳 著

ベレ出版

自分の目の前にある自然物の身元を調べて名前を確定させる作業「同定」。なぜうまく同定できないのか？ どういうプロセスで同定ができるようになるのか？ 図鑑と同定についてとことん掘り下げる。

読売新聞 2022/02/13、毎日新聞 2022/02/26

2021:12./ 183p
978-4-86064-676-9

¥2,200〔税込〕



* 9 7 8 4 8 6 0 6 4 6 7 6 9 *



まほり<上>(角川文庫 た 90-1)

高田 大介 著

KADOKAWA

大学院進学を目指す裕は、上州の某町では二重丸が描かれた紙がいたるところに貼られているという話に興味をもち、昔なじみの香織と調査を始める。すると、山深い郷に少女が監禁されているという噂を少年から聞くが...

読売新聞 2022/02/19

2022:1./ 286p
978-4-04-112049-1

¥704〔税込〕



まほり<下>(角川文庫 た 90-2)

高田 大介 著

KADOKAWA

上州地方の調査を進める裕と香織は、土俗的な因習に関する古文書と格闘するが、決め手はつかめない。一方、山深い郷を独自に調査していた少年・淳が、閉じこめられた少女を救おうとして駐在に補導されてしまい...

読売新聞 2022/02/19

2022:1./ 263p
978-4-04-112052-1

¥704〔税込〕



カデイスの赤い星<下>(講談社文庫)

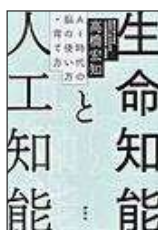
逢坂 剛 著

講談社

読売新聞 2022/02/19

2007:2./ 541p
978-4-06-275641-9

¥990〔税込〕



生命知能と人工知能～AI時代の脳の使い方・育て方～

高橋 宏知 著

講談社

ますます進化した AI(人工知能)が社会に実装される時代。最新の知見をもとに、脳(生命知能)と人工知能を対比しながら、脳の動作原理を考察し、その使い方と育て方を考える。豊かで幸せな生活を送るためのヒントが満載。

読売新聞 2022/02/19

2022:1./ 317p
978-4-06-527051-6

¥1,980〔税込〕



裏切りの日日(集英社文庫)

逢坂剛 著

集英社

読売新聞 2022/02/19

1986:7./ 273p
978-4-08-749125-8

¥682〔税込〕



そして陰謀が教授を潰した～青山学院春木教授事件四十五年目の真実～(小学館文庫 は 22-1)

早瀬 圭一 著

小学館

女子学生はなぜ「強姦」を訴えたのか。派閥争いや「地上げの帝王」が絡み、地位も名誉も信用も家庭も失った男は、死ぬまで「冤罪」を晴らそうとした。有罪か無実か。事件を約半世紀追究した元新聞記者が、その結末を綴る。

読売新聞 2022/02/19

2022:1./ 381p
978-4-09-407108-5

¥858〔税込〕





「やりがい搾取」の農業論(新潮新書 935)

野口 憲一 著
新潮社

いまや食余りの時代。農家が単なる「食糧生産係」から脱し、農業の主導権を取り戻すためには何をすればいいのか。民俗学者兼農家の論客が、日本の農業の成長戦略を考える。

読売新聞 2022/02/19

2022:1./ 183p
978-4-10-610935-5

¥836〔税込〕



日曜日/蜻蛉～生きものと子どもの小品集～(中公文庫 し 55-1)

志賀 直哉 著
中央公論新社

“小説の神様”志賀直哉は、生きものや子どもを好んで書いた。それらの短篇を集めた「日曜日」「蜻蛉」を合本し、24篇を収録。網野菊「先生と生きもの」も付す。

読売新聞 2022/02/19

2021:12./ 245p
978-4-12-207154-4

¥946〔税込〕



太宰治論

安藤 宏 著
東京大学出版会

太宰治の作品と生涯の全貌を、近代という時代とともに解き明かす。日本近代文学研究の第一人者・安藤宏が40年、太宰治について考えてきた足跡をまとめる。多数のコラムのほか、人名索引・太宰治作品名索引も掲載。

読売新聞 2022/02/19

2021:12./
11p,1184p,18p
978-4-13-080068-6

¥13,200〔税込〕



アンネの日記 増補新訂版(文春文庫)

アンネ・フランク 著
文芸春秋

自分用と公開用の二種の日記に父親が削っていた部分を再現した「完全版」に新たに発見された五頁を追加。今明かされる親への思い

読売新聞 2022/02/19

2003:4./ 597p
978-4-16-765133-6

¥1,056〔税込〕



平蔵狩り(文春文庫 お 13-17)

逢坂 剛 著
文藝春秋

人に自らの顔を見せない火付盗賊改の頭領、長谷川平蔵。ある日、父である「本所のへいぞう」を探すために、京から若い女絵師が下ってきた。この女は平蔵の娘なのか。逢坂剛が描く新たなる<長谷川平蔵>シリーズ第2弾。

読売新聞 2022/02/19

2016:12./ 393p
978-4-16-790744-0

¥748〔税込〕





世界を一枚の紙の上に～歴史を変えたダイアグラムと主題地図の誕生～

大田 暁雄 著

オーム社

「世界」を描く。そんな不可能ともいえる課題を前に、科学者や地図学者たちは学際的な思考を発動させ、新しい表現を生み出した。19世紀初頭からおおよそ150年に及ぶ科学的グラフィズムを辿る。『アイデア』連載を単行本化。

読売新聞 2022/02/19

2021:12./ 269p
978-4-274-22785-1

¥4,950〔税込〕



アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か?～これからの経済と女性の話～

カトリーン・マルサル 著

河出書房新社

アダム・スミスが研究中、身の周りの世話をしたのは誰? 女性の家庭内労働は経済の世界から排除され、価値のないものとされてきた。男性中心の経済学に対抗するフェミニスト経済学の考え方をベースに、既存の経済学を斬る。

読売新聞 2022/02/19

2021:11./ 284p
978-4-309-30016-0

¥2,310〔税込〕



帝国とヨーロッパのあいだで～イギリス外交の変容と英仏協商 1900-1905 年～

谷 一巳 著

勁草書房

「光栄ある孤立」はもうもたない。大英帝国が衰退するなか、外務大臣についたベテラン政治家ランズダウンは、イギリス外交の新たな伝統をどのように築いたのか? 世界大戦の構図を形成した知られざる交渉に光を当てる。

読売新聞 2022/02/19

2021:12./
3p,344p,36p
978-4-326-30308-3

¥6,270〔税込〕



うちら、まだ終わってないし(祥伝社文庫 み 19-3)

宮津大蔵 著

祥伝社

歌劇団を退団後、シングルマザーとなっていたアラフィフの元男役・ポロは舞台のプロデュースを決意する。集めたのは、スターではなく、個性光るバイプレイヤーたち。だが、素人プロデューサーの前には次々と難題が...

読売新聞 2022/02/19

2021:11./ 279p
978-4-396-34775-8

¥770〔税込〕



セーラー服の誕生～女子校制服の近代史～

刑部 芳則 著

法政大学出版局

全都道府県のほぼ全ての高等女学校がセーラー服を制服にしたのはなぜなのか。各校の記念誌など膨大な史料をもとに、その特色や地域性、女学生たちの喜びや不満を活写する。写真100点、全国高等女学校の洋式制服一覧も収録。

読売新聞 2022/02/19

2021:12./
7p,317p,59p
978-4-588-32607-3

¥3,300〔税込〕





ぜんぶ愛。

安藤 桃子 著

集英社インターナショナル

映画のロケをきっかけに、3秒で移住を決め高知県へ。豊かな自然、心優しき人々、ちょっと“変”な家族の愛…。映画監督・安藤桃子が「七光り八起き」の半生をユーモラスに綴る。『日本経済新聞』連載に加筆修正し単行本化。

読売新聞 2022/02/19

2021:11./ 183p
978-4-7976-7404-0

¥1,650〔税込〕



冤罪をほどく～“供述弱者”とは誰か～

中日新聞編集局／秦融 著

風媒社

獄中で無実を訴え、12年間書き続けた350余通の手紙。＜供述弱者＞を再審無実へと導いた調査報道は、いかにして可能となったか。再審事件の実情や「司法の闇」に迫る。ウェブ『フォースジャパン』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2022/02/19

2021:12./ 312p
978-4-8331-1144-7

¥1,980〔税込〕



名曲この一枚 新版

西条 卓夫 著

アルファベータブックス

ティボー、ランドフスカ、エネスコ、カペー…。今なお色褪せない名演奏の数々を、レコード鑑賞界の大先達・「盤鬼」こと西条卓夫が語る名著の新版。新たに『藝術新潮』掲載の随筆11本と対応CD一覧を収録。

読売新聞 2022/02/19

2022:1./ 290p,40p
978-4-86598-093-6

¥2,750〔税込〕



いつか死ぬ、それまで生きる わたしのお経

伊藤比呂美 著

朝日新聞出版

古典新訳に定評のある詩人による、暮らしに結びついたお経の現代語訳と、自然を見つめる明るいまなざし、「生きる」ことへのやわらかな希望のある極上エッセイを収録。著者朗読のCD付き。

読売新聞 2022/02/27

2021:11./ 269p
978-4-02-251786-9

¥1,980〔税込〕



ニホンザルの生態(講談社学術文庫 2698)

河合 雅雄 著

講談社

餌付け、実験、長期観察、共感…。日本の霊長類学者たちが独自に開発した方法論で明らかになったサル社会の構造や文化。リーダーの誕生と没落、メスの繁殖戦略、イモ洗い行動の伝播など、ニホンザルの生態を生き生きと描く。

読売新聞 2022/02/27

2022:1./ 419p
978-4-06-526757-8

¥1,551〔税込〕





ボダ子(新潮文庫 あ-104-1)

赤松 利市 著

新潮社

年商 10 億円を超える会社の社長となった大西浩平。だが、娘が境界性人格障害を発症、つきっきりの生活となり、事業は破綻。東日本大震災の復興事業に起死回生をかけて、娘と元妻とともに被災地へ向かうが...

読売新聞 2022/02/27

2022:2./ 415p
978-4-10-103581-9

¥781〔税込〕



シャーロック・ホームズの冒険 改版(新潮文庫)

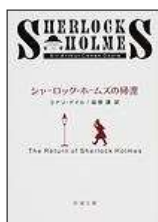
コナン・ドイル、延原 謙 著

新潮社

読売新聞 2022/02/27

1990:1./ 394p
978-4-10-213401-6

¥605〔税込〕



シャーロック・ホームズの帰還 改版(新潮文庫)

コナン・ドイル 著

新潮社

読売新聞 2022/02/27

1990:1./ 388p
978-4-10-213402-3

¥825〔税込〕



教養としてのアメリカ短篇小説

都甲 幸治 著

NHK出版

戦争、奴隷制、禁酒法...。アメリカとそこに暮らす人々の特異な歴史的・文化的・社会的背景を踏まえ、珠玉のアメリカ短篇小説 13 作品を読み解く。NHK ラジオ第二「カルチャーラジオ文学の世界」の講座をもとに加筆・再構成。

読売新聞 2022/02/27

2021:10./ 285p
978-4-14-081871-8

¥1,870〔税込〕



アクロイド殺し(ハヤカワ文庫)

アガサ・クリスティー、羽田 詩津子 著

早川書房

読売新聞 2022/02/27

2003:12./ 445p
978-4-15-130003-5

¥1,056〔税込〕



オリエント急行の殺人〜新訳〜(ハヤカワ・クリスティー文庫 8 ポアロ)

アガサ・クリスティー 著

早川書房

読売新聞 2022/02/27

2011:4./ 413p
978-4-15-131008-9

¥1,034〔税込〕





ナイルに死す 新訳版(ハヤカワ文庫 クリスティー文庫 15)

アガサ・クリスティー 著

早川書房

美貌の資産家リネットと新婚の夫のエジプト旅行中、夫の元婚約者が銃を手につけ回していた。不穏な空気の中、ナイル川をさかのぼる豪華客船上でついに悲劇が。発見された死体は…。名探偵ポアロが活躍する不朽の名作の新訳。

読売新聞 2022/02/27

2020:9./ 548p
978-4-15-131015-7

¥1,386〔税込〕



カーテン～ポアロ最後の事件～(ハヤカワ文庫)

アガサ・クリスティー 著

早川書房

読売新聞 2022/02/27

2011:10./ 376p
978-4-15-131033-1

¥1,012〔税込〕



メルケル～世界一の宰相～

カティ・マートン 著

文藝春秋

女性で理系で東独出身。武器は倫理と科学。トランプ、プーチンら独裁者と渡り合い、コロナとの戦いにも勝った。世界で最も権力を持った女性宰相メルケルの想いと人生を描く。ベールに包まれた私生活にも触れる。

読売新聞 2022/02/27

2021:11./ 468p
978-4-16-391473-2

¥2,475〔税込〕



ミス・サンシャイン

吉田 修一 著

文藝春秋

切ない恋に苦しんでいた大学院生の岡田一心は、ハリウッドで活躍した伝説の女優「和楽京子」と出会った。一心は、気がつけば、彼女のことばかり考えていて…。『文藝春秋』連載を単行本化。

読売新聞 2022/02/27

2022:1./ 281p
978-4-16-391487-9

¥1,760〔税込〕



「神」と「わたし」の哲学～キリスト教とギリシア哲学が織りなす中世～

八木 雄二 著

春秋社

神の存在証明や普遍論争がなぜ大問題なのか。西洋と日本の言語構造の違いに着目し、アンセルムス、トマス、スコトゥスら重要哲学者の思索をたどり、中世哲学の主要論点を検討。日本とは全く異質な西洋思想の本質をあぶりだす。

読売新聞 2022/02/27

2021:12./ 10p,307p
978-4-393-32395-3

¥3,080〔税込〕





惑 まどう〜アンソロジー〜(実業之日本社文庫 ん 8-3)

アミの会 (仮) 著

実業之日本社

疑惑、誘惑、幻惑…。実力派女性作家集団が豪華ゲストを迎えて贈る、人生で起こる「惑う」時を鮮やかに切り取ったミステリ・アンソロジー。大崎梢「かもしれない」、法月綸太郎「迷探偵誕生」など全 8 編を収録。

読売新聞 2022/02/27

2022:2./ 340p
978-4-408-55717-5

¥836〔税込〕



横浜中華街〜世界に誇るチャイナタウンの地理・歴史〜(筑摩選書 0224)

山下 清海 著

筑摩書房

横浜中華街はどのようにしてでき、なぜ人びとに愛されるようになったのか。世界中のチャイナタウンに足を運び研究してきた地理学者が、この街の地形や歴史を解説し、世界的にもユニークな特徴を明らかにする。

読売新聞 2022/02/27

2021:12./ 283p,3p
978-4-480-01742-0

¥1,870〔税込〕



シャーマン〜霊的世界の探求者〜

セバスチャン・ポー／コリーヌ・ソンプラン 著

グラフィック社

フランスの最新の人類学理論と探検家や修道士などの古記録に基づき、シャーマニズムの核心に迫る。モンゴルのシャーマンへの弟子入りとトランス体験に関するエッセイも掲載。シャーマンに関する事例と図版が満載。

読売新聞 2022/02/27

2022:1./ 191p
978-4-7661-3543-5

¥2,970〔税込〕



怖い家

ジョン・ランディス 編

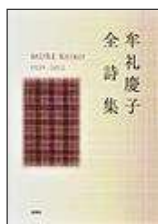
エドガー・アラン・ポー、H・P・ラヴクラフト、シャーロット・P・ギルマン他 著
エクスナレッジ

ある骨董商が人形つきのドールハウスを手に入れるが、人形たちが真夜中に動きだし…。ジェイムズの「呪われた人形の家」をはじめ、ポー、ラヴクラフト、小泉八雲ら巨匠たちが「家」にまつわる恐怖を紡いだ全 14 編を収録する。

読売新聞 2022/02/27

2021:11./ 347p
978-4-7678-2955-5

¥1,870〔税込〕



牟礼慶子全詩集〜1929-2012〜

牟礼慶子 著

思潮社

鮎川信夫らの「荒地」に参加、時代や流行に流されず、つねに自身の内省的かつ伸びやかな歌を表現しつづけた詩人・牟礼慶子による全 6 冊の単行詩集を収録する。

読売新聞 2022/02/27

2022:1./ 426p
978-4-7837-2385-1

¥7,700〔税込〕





劇的クロニクル～1979～2004 劇評集～

西堂 行人 著

論創社

1979年から2004年までに著者が書き綴った渾身の同時代演劇クロニクル。第三エロチカ「ニッポン・ウォーズ」、転形劇場「小町風伝」、状況劇場「二都物語」ほか多数の批評を収録。現代演劇史の集約点！

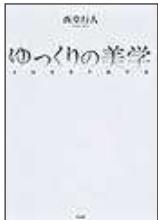
読売新聞 2022/02/27

2004:12./ 517p

図版16p

978-4-8460-0475-0

¥4,180〔税込〕



ゆっくりの美学～太田省吾の劇宇宙～

西堂 行人 著

作品社

“沈黙劇”と呼ばれる独自の舞台を生み出し、今も、世界で高く評価される太田省吾。その劇宇宙の全貌と可能性を、近年の動向を踏まえつつ、より幅広い視点から検証する。生前の本人との対談も収録。

読売新聞 2022/02/27

2022:1./ 352p

978-4-86182-871-3

¥3,080〔税込〕



横道世之介(文春文庫 よ19-5)

吉田 修一 著

文藝春秋

大学進学のため長崎から上京した横道世之介 18歳。愛すべき押しの弱さと隠された芯の強さで、様々な出会いと笑いを引き寄せる。誰の人生にも温かな光を灯す青春小説。2013年2月公開映画の原作。

日本経済新聞 2022/02/05

2012:11./ 467p

978-4-16-766505-0

¥847〔税込〕



自治・分権再考～地方自治を志す人たちへ～

西尾 勝 著

ぎょうせい

地方分権改革を牽引してきた著者が、道州制や大都市制度、原発問題にまで踏み込み、日本の「地方自治」が歩むべき道筋を指南する。2012年に全国4か所で開催した10時間巡回集中講義をまとめた書。

日本経済新聞 2022/02/05

2013:3./ 11p,276p

978-4-324-09645-1

¥2,420〔税込〕



神聖喜劇<第1巻>(光文社文庫)

大西 巨人 著

光文社

1942年1月、対馬要塞の重砲兵聯隊に補充兵役入隊兵百余名が到着した。陸軍二等兵・東堂太郎もその中の一人。「世界は真剣に生きるに値しない」と思い定める虚無主義者である。厳寒の屯営内で、内務班長・大前田軍曹らによる過酷な“新兵教育”が始まる。そして、超人的な記憶力を駆使した東堂二等兵の壮大な闘いも開始された。不滅の文学巨篇、登場！

日本経済新聞 2022/02/05

2002:7./ 578p

978-4-334-73343-8

¥1,166〔税込〕





置かれた場所で咲きなさい(幻冬舎文庫 心-7-1)

渡辺 和子 著

幻冬舎

どんな花でも咲けない日があります。その時は、根を下へ下へと降ろしましょう。つらい日々も笑える日につながっているのです…。ノートルダム清心学園理事長が、読む人の心に和らぎをもたらす言葉を紹介します。

日本経済新聞 2022/02/05

2017:4./ 230p
978-4-344-42610-8

¥605〔税込〕



Invent & Wander～ジェフ・ベゾス Collected Writings～

ジェフ・ベゾス／ウォルター・アイザックソン 著

ダイヤモンド社

アマゾンの驚異的成功を生んだ、考え方・ロジック・原則のすべて。1997年から2019年までの、ジェフ・ベゾスによる株主への手紙を掲載するほか、インタビュー、講演、公聴会での証言などをテーマ別に収録する。

日本経済新聞 2022/02/05

2021:12./ 405p
978-4-478-11213-7

¥1,980〔税込〕



日本半導体復興への道(ちくま新書 1616)

牧本 次生 著

筑摩書房

かつて世界を制した日本の家電産業を支えていた半導体の、急速な発展の歴史と盛衰をたどり、現在の日本の持つ強みと弱みを分析。我が国の命運を握る半導体産業の復活の道筋を明解に提示し、官民連携での開発体制を提唱する。

日本経済新聞 2022/02/05

2021:11./ 279p,7p
978-4-480-07442-3

¥968〔税込〕



脱炭素経営入門～気候変動時代の競争力～

松尾 雄介 著

日本経済新聞出版社

気候変動の真のビジネスリスク・チャンスについて、その背景や基本的なロジックを丁寧かつ具体的な事例を交えて解説。経営目線で見た脱炭素化の重要性を説明し、意思決定の質向上に資する知見を包括的に盛り込む。

日本経済新聞 2022/02/05

2021:11./ 309p
978-4-532-32402-5

¥2,420〔税込〕



がんは裏切る細胞である～進化生物学から治療戦略へ～

アシーナ・アクティピス 著

みすず書房

がんは進化のプロセスそのものである-。進化の視点の基本から説き起こし、協力し合う細胞共同体としての身体の動態や、その中で<裏切り>の生存戦略を選び取るがん細胞の生態を浮かび上がらせる。

日本経済新聞 2022/02/05

2021:12./ 256p,42p
978-4-622-09060-1

¥3,520〔税込〕





現代政治の思想と行動

丸山 眞男 著

未来社

著者が戦後発表した政治学ないし、現代政治の問題に関連する主要な論文を収めたもの。主要テーマにしたがって3部門に整理。第1部現代日本政治の精神状況、第2部イデオロギーの政治学、第3部「政治的なもの」とその限界。

日本経済新聞 2022/02/05

2006:8./ 585p
978-4-624-30103-3

¥4,180〔税込〕



きのこの自然誌(ヤマケイ文庫)

小川 真 著

山と溪谷社

ひそやかに光るきのこ、きのこ毒殺人事件…。きのこ学の第一人者が世界中のきのこを取り上げながら、きのこの不思議な生き方と生態系での重要な役割、きのこ人とが長年繰り広げてきた悲喜こもごもについて語る。

日本経済新聞 2022/02/05

2022:1./ 300p
978-4-635-04935-1

¥1,188〔税込〕



食卓上の韓国史～おいしいメニューでたどる20世紀食文化史～

丁田 隆 編

周 永河 著

慶應義塾大学出版会

日本の植民地支配、解放、朝鮮戦争、都市化、グローバル化を経て、韓国の食はどんな道をたどったのか。「食えること」とおして韓国の歴史と社会をダイナミックに描く。

日本経済新聞 2022/02/05

2021:12./
11p,400p,37p
978-4-7664-2784-4

¥3,740〔税込〕



台湾対抗文化紀行

神田桂一 著

晶文社

周辺諸国の文化をうまく取り入れて、自己主張とゆるさが絶妙なバランスで共存する島、台湾。そんな台湾に魅せられたフリーライターが、現在進行形の台湾カルチャーを案内しながら、これからの時代の生き方や働き方を考える。

日本経済新聞 2022/02/05

2021:11./ 169p
978-4-7949-7286-6

¥1,870〔税込〕



フェルメールとそのライバルたち～絵画市場と画家の戦略～

小林 頼子 著

KADOKAWA

フェルメールの時代、画家たちはなぜ、よく似た作品を描き続けたのか? 17世紀オランダのアート・マーケットを分析し、他の同時代の風俗画家たちの動向を踏まえつつ、フェルメールの作品とマーケット戦略を論じる。

日本経済新聞 2022/02/05、産経新聞 2022/02/06

2021:11./
433p,36p,6p
978-4-04-400678-5

¥2,860〔税込〕





スノーボードを生んだ男ジェイク・バートの一生

福原 顕志 著

文藝春秋

70年代後半、23歳のジェイクが開発したスノーボード。スノーボードブランド

「BURTON(バートン)」の創業者がスノーボードを世界の人気スポーツに発展させた過程と、彼の一生をパラレルに描く。

日本経済新聞 2022/02/05、朝日新聞 2022/02/12

2021:11./ 333p
978-4-16-391472-5

¥1,870〔税込〕



* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 4 7 2 5 *



モチベーションの心理学〜「やる気」と「意欲」のメカニズム〜(中公新書 2680)

鹿毛 雅治 著

中央公論新社

モチベーションはどのように生じ、何に影響を受け、変化していくのか。ほめれば本当にやる気が出るのか。目標説、自信説、成長説、環境説など、モチベーションの心理学の代表的理論を整理、紹介する。

日本経済新聞 2022/02/05、朝日新聞 2022/02/20

2022:1./ 9p,377p
978-4-12-102680-4

¥1,100〔税込〕



* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 6 8 0 4 *



サステナブル・フード革命〜食の未来を変えるイノベーション〜

アマンダ・リトル 著

合同出版

地球規模の食の危機をいかに超えるか？食と農の未来を変える世界各地のイノベーターたち取材し、彼らの活動とビジョンを通して、最先端テクノロジーと環境エコロジーをともに活かす「第3の方法」を提唱する。

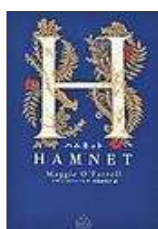
日本経済新聞 2022/02/05、読売新聞 2022/02/19

2021:11./ 393p
978-4-7726-9574-9

¥2,420〔税込〕



* 9 7 8 4 7 7 2 6 9 5 7 4 9 *



ハムネット(CREST BOOKS)

マギー・オファーレル 著

新潮社

シェイクスピアは、なぜ亡き息子の名を戯曲の題にしたのか？「ハムレット」誕生の裏に、400年前のパンデミックによる悲劇があった。史実を大胆に再解釈し、シェイクスピアの妻を全く新しい姿で描き出した歴史小説。

日本経済新聞 2022/02/05、読売新聞 2022/02/27

2021:11./ 409p
978-4-10-590176-9

¥2,750〔税込〕



* 9 7 8 4 1 0 5 9 0 1 7 6 9 *



戦争の文化〜パールハーバー・ヒロシマ・9.11・イラク〜<上>

ジョン・W. ダワー 著

岩波書店

自らに都合の良い思考、異論や批判の排除、過度のナショナリズム、文化的・人種の偏見...。「戦争の文化」の本質を、真珠湾攻撃から原爆投下、9.11事件、イラク戦争に至る日米の愚行を通して描き出す。

日本経済新聞 2022/02/05、毎日新聞 2022/02/05、読売新聞 2022/02/13、朝日新聞 2022/02/20

2021:12./ 40p,357p
978-4-00-061485-6

¥3,080〔税込〕



* 9 7 8 4 0 0 0 6 1 4 8 5 6 *



戦争の文化～パールハーバー・ヒロシマ・9.11・イラク～<下>

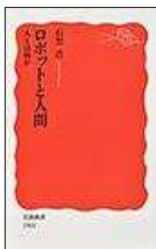
ジョン・W. ダワー 著

岩波書店

アメリカによるイラク戦争開始と日本による真珠湾攻撃、イスラム過激派によるテロ攻撃とアメリカが日本に対して行った原爆投下…。様々な比較を通して、今もなお世界を覆う「戦争の文化」の本質を描き出す。

日本経済新聞 2022/02/05、毎日新聞 2022/02/05、読売新聞 2022/02/13、朝日新聞 2022/02/20

2021:12./
10p,358p,7p
978-4-00-061486-3
¥3,080〔税込〕



ロボットと人間～人とは何か～(岩波新書 新赤版 1901)

石黒 浩 著

岩波書店

人間にとって自律、心、存在、対話、体、進化、生命等とは何か。ロボット学の世界的第一人者が、これまでに取り組んできた研究と、それをもとに巡らせた思考について述べ、ロボットと人間の未来に向けての関係性にも言及する。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:11./ 4p,279p
978-4-00-431901-6
¥1,034〔税込〕



柔術狂時代～20世紀初頭アメリカにおける柔術ブームとその周辺～(朝日選書 1027)

藪耕太郎 著

朝日新聞出版

20世紀初頭のアメリカで生まれた、ジャポニズム、日露戦争、大衆消費社会などを背景とする柔術・柔道の大流行。著名な柔道家から無名の柔術家までの活動を通じて、その実相を豊富な図版資料とともに描く。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:12./ 283p,56p
978-4-02-263115-2
¥1,870〔税込〕



博物館の少女～怪異研究事始め～

富安陽子 著

偕成社

明治16年、文明開化の東京にやってきた、大阪の古物商の娘・花岡イカルは、上野の博物館の古蔵で怪異の研究をしている老人の手伝いをするようになる。博物館を舞台に、謎が謎を呼ぶ事件を描くミステリアスな長篇。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:12./ 341p
978-4-03-814510-0
¥1,540〔税込〕



無罪請負人～刑事弁護とは何か？～(角川 one テーマ 21 D-18)

弘中 惇一郎 著

KADOKAWA

ロス疑惑事件、薬害エイズ事件などを担当した弁護士が、それらの事件を材料に、刑事司法の構造、メディアと刑事事件の共犯関係、弁護士の在り方、現在の刑事事件の捜査・裁判・弁護活動などについて綴る。

日本経済新聞 2022/02/12

2014:4./ 253p
978-4-04-110764-5
¥880〔税込〕





生涯弁護士～事件ファイル～<1> 村木厚子 小澤一郎 鈴木宗男 三浦和義...

弘中 惇一郎 著

講談社

「無罪請負人」と呼ばれる弁護士・弘中惇一郎の事件簿。1 は、三浦和義事件(ロス疑惑)、村木厚子事件(厚労省郵便不正事件)、小澤一郎事件(陸山会政治資金規正法違反事件)などを収録。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:11./ 517p
978-4-06-518903-0

¥2,750〔税込〕



* 9 7 8 4 0 6 5 1 8 9 0 3 0 *



生涯弁護士～事件ファイル～<2> 安部英 カルロス・ゴーン 野村沙知代...

弘中 惇一郎 著

講談社

「無罪請負人」と呼ばれる弁護士・弘中惇一郎の事件簿。2 は、安部英医師薬害エイズ事件、下館タイ女性殺人事件、野村沙知代事件(名誉毀損・プライバシー侵害事件)、カルロス・ゴーン事件などを収録。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:11./ 463p
978-4-06-526110-1

¥2,750〔税込〕



* 9 7 8 4 0 6 5 2 6 1 1 0 1 *



介護のうしろから「がん」が来た!(集英社文庫 し 23-14)

篠田 節子 著

集英社

認知症の母を介護し二十余年。母が施設へ入所し、一息つけると思いきや、今度は自分が乳がん...。乳がん発覚から術後までの怒濤の日々を、ユーモラスに綴る介護&闘病エッセイ。乳房再建医との対談も収録。

日本経済新聞 2022/02/12

2022:1./ 254p
978-4-08-744341-7

¥616〔税込〕



* 9 7 8 4 0 8 7 4 4 3 4 1 7 *



赤い十字

サーシャ・フィリペンコ 著

集英社

第二次世界大戦モスクワ。ソ連において、敵国の捕虜になることは裏切りに等しかった。国外の捕虜リストに夫の名を見つけたタチャーナは、ある決断をする。忘れ去られる過去への抵抗、そして未来への決意を描く。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:11./ 269p
978-4-08-773510-9

¥2,420〔税込〕



* 9 7 8 4 0 8 7 7 3 5 1 0 9 *



理不尽ゲーム

サーシャ・フィリペンコ／奈倉 有里 著

集英社

10年の昏睡から生還した青年が見たものは、ひとりの大統領にすべてを掌握された祖国と、理不尽な状況に疑問をもつことも許されぬ人々の姿だった。ペラルーシのディストピアの現状を文学の力で暴く。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:3./ 253p
978-4-08-773511-6

¥2,310〔税込〕



* 9 7 8 4 0 8 7 7 3 5 1 1 6 *



経済学に何ができるか～文明社会の制度的枠組み～(中公新書 2185)

猪木 武徳 著

中央公論新社

金融危機、中央銀行のあり方、格差と貧困、知的独占の功罪、自由と平等のバランス、そして人間にとって正義とは、幸福とは。鍵を握るのは「制度」の役割である。経済学の基本的な論理を解説しながら、問題の本質に迫る。

日本経済新聞 2022/02/12

2012:10./ 5p,254p
978-4-12-102185-4

¥902〔税込〕



経済社会の学び方～健全な懐疑の目を養う～(中公新書 2659)

猪木 武徳 著

中央公論新社

経済的な関係が深く染みこんだ社会とどうつき合うべきか。データの重要性和限界、理論の功罪、因果推論の効果と弱点、人間心理を扱う難しさなど、経済社会について学ぶためのヒントを紹介。『Web 中公新書』連載を加筆修正。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:9./ 3p,257p
978-4-12-102659-0

¥946〔税込〕



ウイグル大虐殺からの生還～再教育収容所地獄の2年間～

グルバハール・ハイティワジ／ロゼン・モルガ 著

河出書房新社

長時間の取り調べ、拷問、暴行、監視、洗脳、不妊注射…。中国新疆ウイグル自治区の再教育収容所に送られ、2年8カ月にわたって拘束されたのち奇跡的に救い出されたウイグル人女性が、自らの体験を細部まで語る。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:10./ 262p
978-4-309-22834-1

¥2,805〔税込〕



プロボノ～新しい社会貢献新しい働き方～

嵯峨 生馬 著

勁草書房

ビジネスなどで培った自分のスキルを生かして NPO をサポートしていく、創造的で刺激的な活動「プロボノ」。寄付でもボランティアでもない、「進化した」社会貢献と働き方を紹介します。

日本経済新聞 2022/02/12

2011:4./ 4,188p
978-4-326-65362-1

¥2,090〔税込〕



グローバリゼーション～移動から現代を読みとく～(ちくま新書 1622)

伊豫谷 登士翁 著

筑摩書房

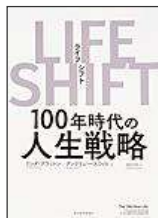
移民・難民問題、排外主義、自国第一主義、コロナ禍、拡大する経済格差…。グローバリゼーションの時代である現代の課題を、移動という観点から再考。グローバリゼーションと国家との関係を解きほぐし、現代世界の深層に迫る。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:12./ 302p
978-4-480-07448-5

¥1,012〔税込〕





LIFE SHIFT～100 年時代の人生戦略～

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット 著

東洋経済新報社

多くの人が 100 年以上生きる社会で、どうすれば、個人や家族、企業、社会全体が長寿化から得る恩恵を最も大きくできるのか。世界で活躍するビジネス思想家たちが、成長至上の次に来る、新しいビジョンを示す。

2016:10./ 399p,15p

978-4-492-53387-1

¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2022/02/12



侯孝賢の映画講義

卓伯棠 編

侯孝賢 著

みすず書房

台湾ニューシネマの興隆を牽引し、世界的にも台湾を代表する映画監督として知られる侯孝賢。生い立ちから映画人としての歩み、制作のエピソードまで、自身の世界を存分に語る。2007 年に香港の大学で行った講義の記録。

2021:11./ 320p,12p

978-4-622-09050-2

¥3,960〔税込〕



日本経済新聞 2022/02/12



仏師から見た日本仏像史～一刀三礼、仏のかたち～

江里 康慧 著

ミネルヴァ書房

平安時代中期にその後の仏像の祖型を完成させた定朝から、鎌倉時代に最高峰を極めた運慶と快慶へ。仏師として長い経歴を持つ著者が、その流れを通観しつつ、独自の視点で新たな日本仏像史を描き出す。

2021:12./

9p,223p,10p

978-4-623-09333-5

¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2022/02/12



「副業」の研究～多様性がもたらす影響と可能性～

川上 淳之 著

慶應義塾大学出版会

ワーキングプアの副業という課題、本業へのスキルアップ効果、非金銭的動機による副業の性格、幸福度や健康との関係…。単なるサイドビジネス的位置づけではなく、経済学的視点からもう一つ仕事を持つ意味を多面的に探求する。

2021:3./ 7p,313p

978-4-7664-2733-2

¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2022/02/12



わたしたちのウェルビーイングをつくりあうために～その思想、実践、技術～

渡邊淳司／ドミニク・チェン／安藤英由樹／坂倉杏介／村田藍子 著

ピー・エヌ・エヌ

「個でありながら共」という日本的なウェルビーイングの在り方とは。これからの社会に欠かすことのできないウェルビーイングを、包括的にとらえるための視点と方法を解説する。

2020:3./ 303p

978-4-8025-1161-2

¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2022/02/12



良心の囚人～自由を放棄しないという選択～(論創ノンフィクション 017)

マ・ティーダ 著

論創社

ミャンマーの監獄で過ごした 6 年。苦難の日々を耐え抜くことができたのはなぜか？

1993 年に政治犯として刑務所に投獄され、獄中で大病を患った女性人権活動家が、獄中で瞑想することで自由を獲得する魂の記録。

日本経済新聞 2022/02/12

2022:1./ 356p
978-4-8460-2085-9

¥2,420〔税込〕



リュウジ式悪魔のレシピ～ひと口で人間をダメにするウマさ!～

リュウジ 著

ライツ社

ひと口で「人間をダメにするくらい」おいしいのに短時間で作れて、掲載レシピの半数は低糖質! ツイッターで人気のレシピの中からおいしいレシピ 116 品を紹介する。料理動画が見られる QR コード付き。

日本経済新聞 2022/02/12

2019:11./ 127p
978-4-909044-23-5

¥1,430〔税込〕



進化思考～生き残るコンセプトをつくる「変異と適応」～

太刀川 英輔 著

英治出版

「進化思考」とは、生物の進化と同じく変異と適応を繰り返すことで、誰もが創造性を諦めることなく発揮できるようになる思考法のこと。領域を超えて支持されるデザイナーが創造性の本質に関わる謎を紐解く。進化ワーク付き。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:4./ 510p
978-4-909934-00-0

¥3,300〔税込〕



「わかりあえない」を越える～目の前のつながりから、共に未来をつくるコミュニケーション・NVC～

マーシャル・B・ローゼンバーク 著

英治出版

世界各地の個人・組織・社会に広がる新しいアプローチ「NVC(非暴力コミュニケーション)」。家族とのすれ違いから集団間の深刻な対立まで、あらゆる状況で活かせる NVC のエッセンスを 4 つのステップで紹介する。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:12./ 267p
978-4-909934-01-7

¥2,090〔税込〕



養老先生のさかさま人間学

養老孟司 著

ミチコーポレーション

参勤交代からウンチ、オシッコまで、養老先生が漢字 1 文字をお題にして、見開き 2 ページで世の中の出来事を深く、鋭く、あたたかく、独自の視点で語る。愛猫まるも登場するマンガ、被災地での特別講演「変化するとき」も収録。

日本経済新聞 2022/02/12

2021:5./ 233p
978-4-9903150-5-4

¥1,650〔税込〕





ソ連を崩壊させた男、エリツィン～帝国崩壊からロシア再生への激動史～

下斗米伸夫 著

作品社

20 世紀最大の政治運動、体制でもあった共産主義を終わらせたエリツィン。ソ連崩壊後 30 年の間に現れた歴史史料や同時代人の回想を取り込みつつ、矛盾に満ちた政治家エリツィンとロシア再生の苦闘を再構成する。

日本経済新聞 2022/02/12、朝日新聞 2022/02/26

2021.12./ 318p
978-4-86182-880-5

¥2,860〔税込〕



この 30 年の小説、ぜんぶ～読んでしゃべって社会が見えた～(河出新書 043)

高橋 源一郎／斎藤 美奈子 著

河出書房新社

本読みのプロである高橋源一郎と斎藤美奈子が、平成から令和までの約 30 年間に刊行された本を通じて、日本社会の深層を読み解いていく対談集。『SIGHT』他掲載に語り下ろしを加えて書籍化。

日本経済新聞 2022/02/12、毎日新聞 2022/02/12

2021.12./ 351p
978-4-309-63145-5

¥1,078〔税込〕



パブリック・スクール～イギリス的紳士・淑女のつくられかた～(岩波新書 新赤版 1630)

新井 潤美 著

岩波書店

歴代首相をはじめ著名人を輩出した、イートン、ハロウなどの寄宿制私立名門校パブリック・スクール。独自の慣習からスポーツ、同性愛まで、小説や映画などからそのイメージの成立と変遷をたどる。

日本経済新聞 2022/02/19

2016.11./
10p,215p,5p
978-4-00-431630-5

¥902〔税込〕



岸田ビジョン～分断から協調へ～(講談社+α 新書 846-1C)

岸田 文雄 著

講談社

経済成長と適切な分配の好循環をもたらす「聞く力」の政治-。2021 年 10 月に第 100 代内閣総理大臣に就任した岸田文雄が世に問う政権構想。「分断から協調へ」をキーワードに、徹底した現実路線を柱として想いを綴る。

日本経済新聞 2022/02/19

2021.10./ 227p
978-4-06-526565-9

¥946〔税込〕



非接触の恋愛事情(集英社文庫 特 18-1)

短編プロジェクト 編

相沢 沙呼／北國 ばらっど／朱白 あおい／十和田 シン／上遠野 浩平／半田 畔／柴田 勝家 著

集英社

小学生の頃から病原菌扱いをされ、いじめを受けてきた高校生の朝陽。しかし、ウイルスの蔓延で状況は一変し…。コロナ禍で変わる恋愛をテーマにした短編アンソロジー。作家が想像の限りを尽くして描く全 7 編。

日本経済新聞 2022/02/19

2021.12./ 281p
978-4-08-744334-9

¥682〔税込〕





時代小説の戦後史～柴田錬三郎から隆慶一郎まで～(新潮選書)

縄田 一男 著

新潮社

「眠狂四郎」「柳生武芸帳」「魔界転生」…。連載中から読者を虜にしたヒーローは、苛烈な戦争体験から生まれた。ヒーロー誕生秘話と型破りな作家たちの実像を解き明かす。『オール讀物』掲載に大幅加筆修正し単行本化。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:12./ 251p
978-4-10-603859-4

¥1,650〔税込〕



疫病と世界史<上>(中公文庫)

ウィリアム・H.マクニール 著

中央公論新社

日本経済新聞 2022/02/19

2007:12./ 275p
978-4-12-204954-3

¥1,320〔税込〕



疫病と世界史<下>(中公文庫)

ウィリアム・H.マクニール 著

中央公論新社

日本経済新聞 2022/02/19

2007:12./ 301p
978-4-12-204955-0

¥1,320〔税込〕



商業美術家の逆襲～もうひとつの日本美術史～(NHK 出版新書 666)

山下 裕二 著

N H K 出版

商業美術こそが、日本美術の伝統を継承し、次の時代の表現を生み出す原動力となってきた。従来の日本美術史の枠をはみ出した商業美術家たちの作品をカラーで紹介するとともに、彼らが近年注目を集める理由を明らかにする。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:12./ 222p
978-4-14-088666-3

¥1,210〔税込〕



火星の人～映画「オデッセイ」原作～<上> 新版(ハヤカワ文庫 SF 2043)

アンディ・ウィアー 著

早川書房

有人火星探査のクルーであるマークは、予期せぬ事故で一人、火星に取り残された。だが希望を捨てず、限られた食料・物資、自らの技術・知識を駆使して生き延びていく。2016年2月公開映画「オデッセイ」の原作。

日本経済新聞 2022/02/19

2015:12./ 319p
978-4-15-012043-6

¥704〔税込〕



火星の人～映画「オデッセイ」原作～<下> 新版(ハヤカワ文庫 SF 2044)

アンディ・ウィアー 著

早川書房

探査隊が到着する4年後まで生き延びるため、マークは火星で食物を栽培すべく対策を編みだしていく。一方、彼の生存を確認したNASAは国家を挙げてのプロジェクトを発動し…。2016年2月公開映画「オデッセイ」の原作。

日本経済新聞 2022/02/19

2015:12./ 312p
978-4-15-012044-3

¥704〔税込〕





プロジェクト・ヘイル・メアリー<上>

アンディ・ウィアー 著

早川書房

たった1人で目を覚ましたグレース。ここは宇宙船。ペトロヴァ問題と呼ばれる災禍によって太陽エネルギーが減少し、存亡の危機に瀕した人類は「プロジェクト・ヘイル・メアリー」を発動。遠い宇宙へ恒星間宇宙船を放ち…。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:12./ 323p
978-4-15-210070-2

¥1,980〔税込〕



プロジェクト・ヘイル・メアリー<下>

アンディ・ウィアー 著

早川書房

「プロジェクト・ヘイル・メアリー」の目的は、太陽エネルギーを食べる未知の地球外生命体アストロファージに感染していないタウ・セチに赴き、その理由を探し出すこと。グレースはこの不可能ミッションに挑むことに…。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:12./ 315p
978-4-15-210071-9

¥1,980〔税込〕



教養としてのラーメン〜ジャンル、お店の系譜、進化、ビジネス-50の?論〜

青木健 著

光文社

究極の一杯を見つけるよりも、どの店でも楽しめる自分になろう-。ラーメン業界を専門にデザイナー、漫画家などとして活躍する著者による、ラーメン全体を俯瞰した?論。ラーメンの基本ジャンルや系列店の基礎知識等を解説。

日本経済新聞 2022/02/19

2022:1./ 189p
978-4-334-95288-4

¥1,705〔税込〕



ホトトギス新歳時記 第3版

稲畑 汀子 著

三省堂

虚子編「新歳時記」をもとに、四季折々の詩情豊かな季題を網羅した歳時記。季題は12か月の季節の推移に従って配列し、句作に役立つ解説と例句も収録する。30の新赛季題を追加した第3版。

日本経済新聞 2022/02/19

2010:5./ 994p
978-4-385-34275-7

¥4,620〔税込〕



人を動かす 新装版

D・カーネギー 著

創元社

「人を動かす三原則」「人に好かれる六原則」「人を説得する十二原則」など、社会人として身につけるべき人間関係の原則を具体的に明示する。あらゆる自己啓発の原点となった書の改訂版を訳した新装版。

日本経済新聞 2022/02/19

1999:10./ 346p
978-4-422-10051-7

¥1,650〔税込〕



道は開ける 新装版

D・カーネギー、香山 晶 著

創元社

「悩みに関する基本事項」「悩みを分析する基礎技術」「批判を気にしない方法」など、悩みの正体を明らかにし、悩みを解決する原則を具体的に明示。こころの闇に光を与える書の新装版。

日本経済新聞 2022/02/19

1999:10./ 442p
978-4-422-10052-4

¥1,760〔税込〕



生きている会社、死んでいる会社～「創造的新陳代謝」を生み出す 10 の基本原則～

遠藤 功 著

東洋経済新報社

事業、業務、組織、人。4つの「新陳代謝」で会社は強くなる！会社の本質を解き明かしながら、絶え間なく挑戦し、実践し、創造し、代謝する「生きている会社」になるための処方箋を提示する。

日本経済新聞 2022/02/19

2018:2./ 391p
978-4-492-55784-6

¥1,980〔税込〕



企業価値経営

伊藤 邦雄 著

日本経済新聞出版社

企業価値を評価する手法や概念が、経営という実践の場でどのような意義を持ち、どのように活用されているか。日本企業が直面している課題や現実にもとづいて理解できるよう、豊富な国内事例を取り上げてわかりやすく解説する。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:4./ 11p,710p
978-4-532-13514-0

¥4,620〔税込〕



稲盛と永守～京都発カリスマ経営の本質～

名和 高司 著

日本経済新聞出版社

「志」から出発する。長期目標を立てながら、短期的に結果を出すことにこだわり続ける。人の心に火をつける。日本を代表する2人のカリスマ経営者の知られざる共通点を明らかにし、日本企業が学ぶべき経営の本質に迫る。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:8./ 253p
978-4-532-32421-6

¥1,760〔税込〕



アフター・メルケル～「最強」の次にあるもの～

唐鎌 大輔 著

日本経済新聞出版社

政治・経済で最強を誇るドイツの一時代を築き、EUにとって良い意味でも悪い意味でもひとつの象徴だった「メルケルのドイツ」。メルケル政権の16年を中心に、ドイツやEUの過去・現在・未来を政治・経済面から分析する。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:12./ 289p
978-4-532-35909-6

¥2,640〔税込〕





ノブレス・オブリージュ イギリスの上流階級

新井 潤美 著

白水社

イギリス的なものとして親しみをこめて思い描かれる「アッパー・クラス」の人々は、イギリス国内でどういうイメージをもたれてきたか。その印象・誤解・実像を、文学と著名な人々の例を通して、背景事情とともに読み解く。

日本経済新聞 2022/02/19

2022:1./ 235p,5p
978-4-560-09879-0

¥2,420〔税込〕



疫病の世界史<上> 黒死病・ナポレオン戦争・顕微鏡

フランク・M・スノーデン 著

明石書店

人間社会の実像を映し出す鏡「疫病」の世界史。上は、古代?近代を取り上げ、ペスト、天然痘、コレラなどの流行の実態と、ある「英雄」の見込み違いが招いた惨事、細菌の発見がもたらした劇的な転機を描く。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:11./ 381p
978-4-7503-5267-1

¥3,300〔税込〕



疫病の世界史<下> 消耗病・植民地・グローバリゼーション

フランク・M・スノーデン 著

明石書店

人間社会の実像を映し出す鏡「疫病」の世界史。下は、近代?現在を取り上げ、結核やエイズなどの疫病における文化・社会との接点を探り、コロナ禍のイタリア・ロンバルディアから未来に向けた英知を考察する。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:11./ 453p
978-4-7503-5268-8

¥3,300〔税込〕



江戸文化いろはにほへと〜粋と芸と食と俗を知る愉しみ〜

越後屋 助七 著

亜紀書房

老舗「駒形どぜう」が30年余にわたって開催してきた講演サロン「江戸文化道場」。その中から選りすぐりの江戸噺をまとめた江戸文化の入門書。江戸時代から商売を続ける日本橋、神田、銀座、赤坂などの名店も紹介する。

日本経済新聞 2022/02/19

2019:7./ 223p
978-4-7505-1602-8

¥1,760〔税込〕



虚構の森

田中 淳夫 著

新泉社

気候変動と生物多様性に関わる森の話題をテーマに、森に関する異論・異説、意外な現実などを紹介。外来種の侵入等身近な自然の変容、日本の森林の歴史的変遷、環境問題に対する政策や報道そのものも取り上げる。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:11./ 263p
978-4-7877-2119-8

¥2,200〔税込〕





鈴木大拙の原風景 新装改訂版

西村 恵信 著

大法輪閣

不立文字の禅を英語によって説き、禅思想の世界化を果たした鈴木大拙。新たな資料を駆使して、西田幾多郎・山本良吉らとの交流、米国生活体験など、大拙の若き日の苦渋と、その後の思想形成の軌跡を辿る。

日本経済新聞 2022/02/19

2016:6./ 369p
978-4-8046-1384-0

¥3,300〔税込〕



ポストコロナの経済学～8つの構造変化のなかで日本人はどう生きるべきか？～

熊谷 亮丸 著

日経B P社

新型コロナウイルス感染症が日本と世界の経済に与える影響や必要な政策対応を概観し、ポストコロナ時代に予想される8つのグローバルな構造変化を検証。日本の強みと弱みを踏まえた上で、これからの生き方を多面的に考察する。

日本経済新聞 2022/02/19

2020:7./ 319p
978-4-8222-8895-2

¥1,760〔税込〕



サイバネティクス全史～人類は思考するマシンに何を夢見たのか～

トマス・リッド、松浦 俊輔 著

作品社

戦争兵器からコンピュータ・ネットワーク、ソーシャル・メディア、監視技術、VRまで。人間とマシンを統合する理論「サイバネティクス」の思想や文化の系譜を、最新資料や関係者へのインタビューなども交えながら活写する。

日本経済新聞 2022/02/19

2017:9./ 417p,43p
図版 32p

978-4-86182-652-8

¥3,960〔税込〕



アクティブ・メジャーズ～情報戦争の百年秘史～

トマス・リッド 著

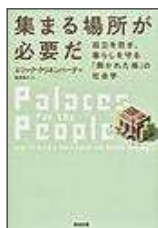
作品社

情報攪乱、誘導、スパイ活動、ハッキング…。現代世界の暗部でくりかえされてきた積極工作(アクティブ・メジャーズ)。安全保障・サイバーセキュリティの第一人者が、米ソ(露)を中心に情報戦争の百年の歴史を描出する。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:10./ 558p
978-4-86182-870-6

¥4,950〔税込〕



集まる場所が必要だ～孤立を防ぎ、暮らしを守る「開かれた場」の社会学～

エリック・クリネンバーグ 著

英治出版

1995年のシカゴ熱波で生死を分けた要因に社会的孤立があった。つながりを育み、暮らしと命を守るには何が必要なのか？あらゆる人が受け入れられる「社会的インフラ」の価値を、社会学者が解き明かす。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:12./ 347p
978-4-86276-307-5

¥2,640〔税込〕





冬牧場～カザフ族遊牧民と旅をして～

李 娟 著

シャスタインターナショナル

そこは、世界で一番海から遠い場所。魯迅文学賞を受賞した李娟が、新疆ウイグル地区アルタイ地方にある冬の牧場で遊牧をしている、カザフ族との約3カ月にわたる心温まる交流を綴った紀行エッセイ。

日本経済新聞 2022/02/19

2021:12./ 349p
978-4-908184-30-7

¥3,740〔税込〕



女性のお金の不安、仕事のもやもや相談 BOOK

朝日新聞出版 著

朝日新聞出版

お金と仕事の悩みを持つ女性に向けて、「何に困っているか」を分析し、それぞれの困りごとに対して解決のヒントを提示する。大人でも今から目指せる職業図鑑も収録。書き込み式のページあり。

日本経済新聞 2022/02/26

2021:10./ 191p
978-4-02-334048-0

¥1,210〔税込〕



緑の天幕(CREST BOOKS)

リュドミラ・ウリツカヤ 著

新潮社

1953年のスターリンの死から1991年のソ連崩壊へ。人びとはそれぞれに夢を抱き、愛を求めては失いながら、抑圧的な社会の中で人間らしく生きようとし…。ロシアを代表する女性作家による大河長篇。

日本経済新聞 2022/02/26

2021:12./ 718p
978-4-10-590177-6

¥4,180〔税込〕



江戸～平安時代から家康の建設へ～(中公新書 2675)

齋藤 慎一 著

中央公論新社

江戸の繁栄はいかにして築かれたのか。平安時代末期の秩父平氏の支配から、太田道灌の築城、北条氏の入城、家康の大工事まで、新知見を踏まえながら、江戸が豪華絢爛な都市となるまでの変遷過程を解明する。

日本経済新聞 2022/02/26

2021:12./ 9p,217p
978-4-12-102675-0

¥902〔税込〕



言語が違えば、世界も違って見えるわけ(ハヤカワ文庫 NF 586)

ガイ・ドイッチャー 著

早川書房

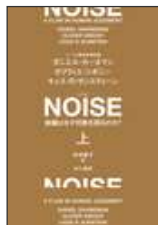
言語は思考・知覚をどう変えるのか？ 古代ギリシャの色世界から、未開社会の驚くべき空間感覚、母語が知覚に影響する脳の仕組みまで、多彩な領野をかけわたりながら、言語と世界観とのかかわりを鮮やかに実証する。

日本経済新聞 2022/02/26

2022:2./ 456p
978-4-15-050586-8

¥1,298〔税込〕





NOISE～組織はなぜ判断を誤るのか?～<上>

ダニエル・カーネマン／オリヴィエ・シボニー／キャス・Ｒ・サンスティーン 著

早川書房

集団における意思決定者間の判断のばらつき=ノイズ。犯罪と刑罰、集団によるノイズの増幅、人間の判断とモデル…。ノイズを見出し、原因を探り、組織や社会への悪影響を明らかにするとともに解消策を提案する。

日本経済新聞 2022/02/26

2021:12./ 314p
978-4-15-210067-2

¥2,310〔税込〕



NOISE～組織はなぜ判断を誤るのか?～<下>

ダニエル・カーネマン／オリヴィエ・シボニー／キャス・Ｒ・サンスティーン 著

早川書房

集団における意思決定者間の判断のばらつき=ノイズ。科学調査における情報管理、人事評価の尺度…。ノイズを見出し、原因を探り、組織や社会への悪影響を明らかにするとともに解消策を提案する。

日本経済新聞 2022/02/26

2021:12./ 322p
978-4-15-210068-9

¥2,310〔税込〕



検証安倍政権～保守とリアリズムの政治～(文春新書 1346)

アジア・パシフィック・イニシアティブ 著

文藝春秋

アベノミクス、憲法改正をめぐる騒動、TPP…。7年8カ月という史上最長政権は何をやろうとし、何を残したのか? 安倍元首相をはじめ、政権当事者に対する徹底インタビューを軸に、第一線の研究者がその内幕に鋭く迫る。

日本経済新聞 2022/02/26

2022:1./ 388p,7p
978-4-16-661346-5

¥1,265〔税込〕



読書とは何か～知を捕らえる15の技術～(河出新書 046)

三中 信宏 著

河出書房新社

自分で読んだ本をあなたは本当に「読んだ」といえるだろうか。その本のいったい“何”を読んだのか。本から得た知識をどう解体しみずからの血肉にとりこんでゆくのか、読書経験を通しものごとを考えぬく方法について解説する。

日本経済新聞 2022/02/26

2022:1./ 292p
978-4-309-63147-9

¥979〔税込〕



お金・仕事・家事の不安がなくなる共働き夫婦最強の教科書～3000以上の家計を診断した人気FPが教える～

内藤 真弓 著

東洋経済新報社

歯を食いしばってがんばる必要なし! 共働き夫婦が笑顔で支え合えるように、家計管理や家事、育児、ご近所づき合いなどのお悩み解決方法をわかりやすく紹介します。書き込み式のライフプラン表・家事スケジュール表付き。

日本経済新聞 2022/02/26

2021:9./ 275p
978-4-492-04698-2

¥1,650〔税込〕





インパクト投資～社会を良くする資本主義を目指して～

ロナルド・コーエン 著

日本経済新聞出版社

社会的インパクトは、個人と地域社会の幸福を高め、実りある人生を送れるようにし、人々をより良い世界へ導く。資本とイノベーションを利用し、社会・環境問題を解決する新しいシステム「インパクト投資」を創始者が解説する。

日本経済新聞 2022/02/26

2021.12./ 259p
978-4-532-35898-3

¥2,420〔税込〕



空と宇宙の食事の歴史物語～気球、旅客機からスペースシャトルまで～

リチャード・フォス 著

原書房

長時間の飛行機の旅では、限られた空間で調理、配膳された魅力的な機内食が振舞われる。戦闘時や宇宙では手軽でおいしく栄養のある食事が欠かせない。絶え間ない技術開発に支えられている空での食事の変遷を追う。レシピ付き。

日本経済新聞 2022/02/26

2022.2./ 341p
978-4-562-05982-9

¥2,200〔税込〕



六義園・柳沢家の雛祭～『宴遊日記』にみる江戸の人形文化～

是澤 博昭 著

ミネルヴァ書房

六義園のお殿さま・柳沢信鴻が記した「宴遊日記」は、雛祭が誕生する 18 世紀中頃の様子を伝える貴重な記録。愛する女性や子供のために、庶民に混じり雛を買い求める彼の姿から、町の様子や人々の触れ合い、生活を読み解く。

日本経済新聞 2022/02/26

2022.1./ 13p,261p,6p
978-4-623-09233-8

¥5,500〔税込〕



ルポ コロナ禍の移民たち

室橋 裕和 著

明石書店

コロナ・ショックは移民社会をどう変えたか。気鋭のルポライターが日本で生きる外国人を取材。共通の災害の中での隣人たちの偽らざる本音と生き抜き方を伝える。

日本経済新聞 2022/02/26

2021.12./ 293p
978-4-7503-5317-3

¥1,760〔税込〕



あいつゲイだって～アウトティングはなぜ問題なのか？～

松岡 宗嗣 著

柏書房

一橋大学アウトティング事件の控訴審判決から 1 年。ゲイの当事者であり、性的マイノリティに関する情報を発信してきたライターでもある著者が、自身の実体験などをベースに、アウトティングについて考える。

日本経済新聞 2022/02/26

2021.11./ 230p
978-4-7601-5427-2

¥1,980〔税込〕





歴史は現代文学である～社会科学のためのマニフェスト～

イヴァン・ジャブロンカ、真野 倫平 著

名古屋大学出版会

真実と物語の間で揺れ動き、その意義を問われてきた歴史は、ポストモダニズムの懐疑を乗り越えた後で、「歴史の論理」を立て直すことができるのか。自らの実践に基づき、社会科学と文学の手法を和解させ、歴史記述を刷新する。

日本経済新聞 2022/02/26

2018:5./ 8p,278p,32p
978-4-8158-0908-9

¥4,950〔税込〕



ゴイング・ダーク～12の過激主義組織潜入ルポ～

ユリア・エブナー、西川 美樹 著

左右社

ネオナチ、Qアノンから、ISIS 主催のハッキング講座や白人至上主義者の出会い系サイトまで。5人の違う人間になりすまし、12の過激主義組織に潜入した女性研究者が、過激主義組織の隠れた実態を掘り起こし明るみに出す。

日本経済新聞 2022/02/26

2021:12./ 411p,38p
978-4-86528-054-8

¥2,530〔税込〕



老子探究～生きつづける思想～

蜂屋 邦夫 著

岩波書店

「老子」とは一体どんな書物か。古代からどう読み解かれ、中国歴代王朝の統治にどうかかわったか。老子思想の発展・展開を大きな時代のうねりとして捉え明快に語る。老荘思想研究の第一人者による老子探究の到達点。

毎日新聞 2022/02/05

2021:12./ 15p,444p
978-4-00-002607-9

¥3,410〔税込〕



ユートピア政治の終焉～グローバル・デモクラシーという神話～

ジョン・グレイ、松野 弘 著

岩波書店

聖書に端を発する黙示録的神話は、今もなお、ネオコン(新保守主義派)や新自由主義派、またイスラム過激派のなかに生き続けている。近代以降、黙示録的信念を持つユートピア主義と現実政治の関わりを分析する。

毎日新聞 2022/02/05

2011:3./ 15,360,5p
978-4-00-025411-3

¥4,400〔税込〕



東京オリンピック始末記(岩波ブックレット No.1057)

小笠原 博毅／山本 敦久 著

岩波書店

問題は多かったけど、選手たちは頑張った-。そんな「スポーツの力」は免罪符にさえならない! オリンピックの誤魔化しと偽り、遺された負債とは。強行された 2020 年東京大会と、近代オリンピックの本質の問題を批判する。

毎日新聞 2022/02/05

2022:1./ 63p
978-4-00-271057-0

¥572〔税込〕





まじめな会社員 (1) (モーニング KC)

冬野 梅子 著

講談社

コロナ禍における、新種の孤独と人生のたのしみを、「普通の人でいいのに！」で大論争を巻き起こした新人・冬野梅子が描き切る！ 菊池あみ子、30歳。契約社員。彼氏は5年いない。いろんな生き方が提示される時代とはいえ、結婚せずにいる自分へ向けられる世間の厳しい目を、勝手に意識せずにはいられない。それでもコツコツと自分なりに築いてきた人間関係が、コロナで急に失われたら...！？

毎日新聞 2022/02/05

2021:12./ 160p
978-4-06-525928-3

¥715〔税込〕



R.I.P.～安らかに眠れ～

久坂部 羊 著

講談社

優しかった兄が、3人もの自殺志願者を殺めた。連続凶悪事件を犯した兄・真也が語り始める不可解な動機を解き明かそうと、妹の薫子は奔走するが、一線を越えてしまった真也の「知らなかった一面」に衝撃を受け...

毎日新聞 2022/02/05

2021:11./ 262p
978-4-06-526137-8

¥1,760〔税込〕



まじめな会社員 (2) (モーニング KC)

冬野 梅子 著

講談社

コロナ禍における、新種の孤独と人生のたのしみを、「普通の人でいいのに！」で大論争を巻き起こした新人・冬野梅子が描き切る！ 菊池あみ子、30歳。契約社員。彼氏は5年いない。いろんな生き方が提示される時代とはいえ、結婚せずにいる自分へ向けられる世間の厳しい目を、勝手に意識せずにはいられない。それでもコツコツと自分なりに築いてきた人間関係が、コロナで急に失われたら...！？

毎日新聞 2022/02/05

2022:1./ 160p
978-4-06-526448-5

¥715〔税込〕



我が愛する詩人の伝記～写文集～

室生 犀星 著

中央公論新社

北原白秋の柳河、萩原朔太郎の前橋、堀辰雄の軽井沢・追分、津村信夫の戸隠山...。親しき友人たちを詩人が追慕し、ゆかりの地を写真家が訪ね歩く。ありし日の日本の詩情を捉えた写文集。

毎日新聞 2022/02/05

2021:12./ 285p
978-4-12-005482-2

¥3,850〔税込〕





彼は早稲田で死んだ～大学構内リンチ殺人事件の永遠～

樋田 毅 著

文藝春秋

1972 年、早稲田大学構内で 1 人の学生が虐殺された。その事件をきっかけに蜂起した一般学生の「自由」獲得への闘い。その時、キャンパスでは何が起きていたのか。渦中で理不尽な暴力と対峙し続けた著者による渾身のルポ。

毎日新聞 2022/02/05

2021:11./ 261p
978-4-16-391445-9

¥1,980〔税込〕



帝国の計画とファシズム～革新官僚、満洲国と戦時下の日本国家～

ジャニス・ミムラ 著

人文書院

軍事化する日本において、岸信介、星野直樹ら革新官僚による満洲国の建設は日本に何をもたらしたのか。戦後にまで影響を及ぼした日本ファシズムの実態を多角的に分析する。

毎日新聞 2022/02/05

2021:12./ 315p
978-4-409-52084-0

¥4,950〔税込〕



猫に学ぶ～いかに良く生きるか～

ジョン・グレイ 著

みすず書房

幸福を追い求める人間に対して、猫は何を教えてくれるのか。何世紀にもわたる哲学や、コレット、ハイスミス、谷崎らの小説を渉猟し、人間が猫にどう反応し行動するかを定めてきた複雑で親密なつながりを探究する。

毎日新聞 2022/02/05

2021:11./ 176p
978-4-622-09049-6

¥3,300〔税込〕



読書会の教室～本が繋げる新たな出会い 参加・開催・運営の方法～

竹田信弥／田中佳祐 著

晶文社

読書会に興味をもつ人のために、参加・開催・運営に関する実践的なノウハウを解説。有名読書会の主催者へのインタビュー、実際の読書会の様子を書き起こしたドキュメントなども収録。コピーして使う読書会ノート付き。

毎日新聞 2022/02/05

2021:12./ 191p
978-4-7949-7289-7

¥1,870〔税込〕



チーム・バチスタの栄光(宝島社文庫 C か-1-17)

海堂 尊 著

宝島社

心臓移植の代替手術<バチスタ>手術専門の天才外科チームで原因不明の連続術中死が発生。不定愁訴外来の田口医師は病院長に命じられ内部調査を始めた。そこへ厚生労働省の変人役人・白鳥がやってきて…。傑作医療ミステリー。

毎日新聞 2022/02/05

2015:9./ 456p
978-4-8002-4642-4

¥858〔税込〕





幻想の過去～20世紀の全体主義～

フランソワ・フュレ、楠瀬 正浩 著

バジリコ

コミュニズムとは、ファシズム同様、民主主義を母体として誕生した、民主主義による民主主義の否定であった…。コミュニズムの「幻想」を通して20世紀の総括を試みる。

毎日新聞 2022/02/05

2007:8./ 821,8p
978-4-86238-043-2

¥6,050〔税込〕



* 9 7 8 4 8 6 2 3 8 0 4 3 2 *



菊池寛が落語になる日

春風亭 小朝 著

文藝春秋

圧倒的な人間観察眼と超斬新なシチュエーションで、菊池寛の小説が現代によみがえる！春風亭小朝のライフワーク「菊池寛落語」を小説化。「入れ札」など落語小説全9編、菊池寛の原作短編、浅田次郎との対談を収録する。

毎日新聞 2022/02/05、日本経済新聞 2022/02/26

2022:1./ 252p
978-4-16-391485-5

¥1,760〔税込〕



* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 4 8 5 5 *



捜査線上の夕映え(火村シリーズ)

有栖川 有栖 著

文藝春秋

ありふれた事件のはずだった。「俺が名探偵の役目を果たせるか、今回は怪しい」。火村を追い詰めた、不気味なジョーカーの存在とは。『別冊文藝春秋』連載を加筆修正して単行本化。

毎日新聞 2022/02/06

2022:1./ 459p
978-4-16-391484-8

¥1,980〔税込〕



* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 4 8 4 8 *



マネーの魔術師～ハッカー黒木の告白～(中公文庫 え 21-6)

榎本 憲男 著

中央公論新社

CIAにも雇用された経験を持つ天才ハッカーの黒木が、伝統工芸を研究する大学院生・柴田澪をある試みに誘った。金融資本主義に抗うための実験と囁く黒木だが…。文庫書き下ろしエンターテインメント巨篇。

毎日新聞 2022/02/06、読売新聞 2022/02/13

2022:1./ 473p
978-4-12-207167-4

¥990〔税込〕



* 9 7 8 4 1 2 2 0 7 1 6 7 4 *



僕とアリスの夏物語～人工知能の、その先へ～(岩波科学ライブラリー 309)

谷口 忠大 著

岩波書店

小学生の悠翔のもとに、赤ちゃんのように何も知らない謎の少女アリスがやってきた。そこに、怪しい影が忍び寄り…。AIと共存する未来や、発達する知能の実現などに、小説と解説の合わせ技で迫る。

毎日新聞 2022/02/12

2022:1./ 5p,197p,3p
978-4-00-029709-7

¥1,760〔税込〕



* 9 7 8 4 0 0 0 2 9 7 0 9 7 *



かざる日本

橋本 麻里 著

岩波書店

「この世ならざるもの」を招き寄せ、日常を異化し、聖化する。<かざる>という営みには、心をざわめかせる不穏な力がそなわっている。美術・工芸、ありとある領域に分け入り、その術式を闡明する。『図書』連載に加筆。

毎日新聞 2022/02/12

2021:12./ 6p,243p,3p

978-4-00-061510-5

¥2,860〔税込〕



こねこのぴっち(大型絵本)

ハンス・フィッシャー 著

岩波書店

毎日新聞 2022/02/12

1987:11./ 1冊

978-4-00-110595-7

¥1,650〔税込〕



ひとまねこざる(大型絵本)

H. A. レイ 著

岩波書店

毎日新聞 2022/02/12

1983:9./ 47p

978-4-00-110922-1

¥1,430〔税込〕



大蛇に嫁いだ娘<1>(BEAM COMIX)

フシアシクモ 著

KADOKAWA

「傷モノの娘だ。ちょうどよい」そう言われ、山の主である大蛇のもとに供物として嫁いだ少女ミヨ。喰われるのではないかと怯えるミヨだったが、大蛇は夫婦になれたことを喜んでいる様子。しかし、大蛇の愛情表現は人間のそれとは大きく異なり——異種族ゆえのすれ違いを耽美な筆致で描く、ピュアな異類婚姻譚。

毎日新聞 2022/02/12

2021:11./ 197p

978-4-04-736844-6

¥792〔税込〕



故旧忘れ得べき(P+D BOOKS)

高見 順 著

小学館

旧制高校時代、マルキシズムに傾倒していた小関と篠原。一方は雑誌社勤め、もう一方はお金持ちの息子と大きく境遇は違うが、ともに“転向”による虚無感を抱えながら生きて…。著者自身の体験に基づいた“転向文学”の名作。

毎日新聞 2022/02/12

2022:1./ 223p

978-4-09-352432-2

¥715〔税込〕



銀座で逢ったひと

関 容子 著

中央公論新社

バスの中、バーの向こう、喫茶店を出たところ-。吉行淳之介、初代中村獅童、沢村貞子、小沢昭一、古今亭志ん朝など、著者が銀座で逢った忘れ得ぬ人々との思い出を綴る。『銀座百点』連載等を加筆修正して単行本化。

毎日新聞 2022/02/12

2021:9./ 285p

978-4-12-005466-2

¥2,420〔税込〕





東海道五十三次いまむかし歩き旅

高橋 真名子 著

河出書房新社

名所旧跡、神話伝説、なつかしい風物、自然景観。関所を後に、峠を越えて。東海道五十三次を歩き、街道と宿場に残されたたくさんの魅力をたどる。写真・図版を多数収録。

毎日新聞 2022/02/12

2022:1./ 309p
978-4-309-22839-6

¥2,475〔税込〕



菌類が世界を救う〜キノコ・カビ・酵母たちの驚異の能力〜

マーリン・シェルドレイク 著

河出書房新社

建築やコンピュータをつくる、猛毒や放射線を食べる、地球全体の気候を変える、宇宙空間でも生き延びる…。「生命」の常識を覆す、菌類の脅威の能力を紹介する。カラー図版も収録。

毎日新聞 2022/02/12

2022:1./ 284p,85p
図版 16p

978-4-309-25439-5

¥3,190〔税込〕



謹訳源氏物語<1> 改訂新修(祥伝社文庫 は 18-1)

紫式部、林 望 著

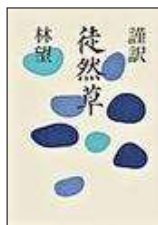
祥伝社

原典の持つ深く豊かな文学世界を、正確な解釈と自然な口語訳で、現代小説のようにすらすら読める源氏物語。1 は、桐壺・帚木・空?・夕顔・若紫を収録。

毎日新聞 2022/02/12

2017:9./ 410p
978-4-396-31716-4

¥792〔税込〕



謹訳徒然草

林 望 著

祥伝社

或る時は人生の万般を考え、或る時は世の理不尽や愚かな人に憤慨し、或る時は珍談奇話を書き留める。随筆文学の最高峰、全 243 段現代語訳の決定版。本体は背表紙なし糸綴じ。

毎日新聞 2022/02/12

2021:12./ 300p
978-4-396-61775-2

¥1,980〔税込〕



キリスト教教義学<上>

近藤勝彦 著

教文館

聖書神学を尊重し、遠大な神学史・教義学史を検討し、現代世界の思想的難題にも応答した、キリスト教教義学の記念碑的著作。上は、「キリスト教教義学とは何か」をはじめ、啓示から贖罪論までを扱う。

毎日新聞 2022/02/12

2021:12./ 1203p
978-4-7642-7455-6

¥14,300〔税込〕





ちいさいうち(ラボ市販 CD ライブラリー)

バージニア・リー・バートン 著

ラボ教育センター

田舎の静かなところに、ちいさいうちがありました。時が経つにつれ、ちいさいうちのまわりが町になっていき…。英語で読んで、英語&日本語を付属 CD で聞いて、音楽も楽しむ絵本。日本語併記の別紙付き。

毎日新聞 2022/02/12

2018:12./ 40p
978-4-89811-124-6

¥2,860〔税込〕



母の待つ里

浅田 次郎 著

新潮社

家庭も故郷もない還暦世代の3人の男女の元に舞い込んだ<理想のふるさと>への招待。奇妙だけれど魅力的な誘いに半信半疑で向かった先には、かけがえのない<母>との出会いが待っていて…。『小説新潮』連載を書籍化。

毎日新聞 2022/02/12、読売新聞 2022/02/27

2022:1./ 297p
978-4-10-439406-7

¥1,760〔税込〕



ニワトリと卵と、息子の思春期

繁延 あづさ 著

婦人之友社

「ゲームを買って」と言っていた思春期の長男が、代わりにほしいと言ったのはニワトリだった。実現に向けて奔走する息子と、母の葛藤。親子が迎えた成長の季節を描いた手記。『婦人之友』掲載を大幅に加筆修正したもの。

毎日新聞 2022/02/12、読売新聞 2022/02/27

2021:11./ 175p
978-4-8292-0972-1

¥1,595〔税込〕



未来の科学者たちへ

大隅 良典／永田 和宏 著

KADOKAWA

基礎科学の第一線を走ってきた2人の研究者が、役に立つかどうかの指標があらゆるところに入り込む風潮に警鐘を鳴らし、新たな価値観を提示。科学の魅力と楽しさを伝える。

毎日新聞 2022/02/19

2021:11./ 213p
978-4-04-108147-1

¥1,760〔税込〕



アケメネス朝ペルシア～史上初の世界帝国～(中公新書 2661)

阿部 拓児 著

中央公論新社

古代オリエントの超大国の強く儚い、220年の興亡。2500年前、アジア・アフリカ・ヨーロッパの三大陸を支配した「史上初の世界帝国」アケメネス朝ペルシア。ダレイオス1世ら9人の王を軸に、その全貌と内幕を描き出す。

毎日新聞 2022/02/19

2021:9./ 7p,259p
978-4-12-102661-3

¥968〔税込〕





昭和の名短篇(中公文庫 あ 96-1)

荒川 洋治 編
中央公論新社

1945年8月から89年1月までの間に発表された作品から名篇を厳選。志賀直哉、高見順から田中小実昌、色川武大まで、昭和を彩った全14篇を発表年代順に収録した戦後文学アンソロジーの決定版。

毎日新聞 2022/02/19

2021:11./ 299p
978-4-12-207133-9

¥990〔税込〕



* 9 7 8 4 1 2 2 0 7 1 3 3 9 *

八百万の死にざま(ハヤカワ・ミステリ文庫)

ローレンス・ブロック、田口 俊樹 著
早川書房

毎日新聞 2022/02/19

1988:10./ 503p
978-4-15-077451-6

¥1,144〔税込〕



* 9 7 8 4 1 5 0 7 7 4 5 1 6 *



ひとまず上出来

ジェーン・スー 著
文藝春秋

令和の「ニュー中年」の私たち。今までのやり方を整えたり、やめてみたり。心地よいサイズを見つけてみたら、もっと息がしやすくなった! ジェーン・スーによるエッセイ集。『CREA』連載に書き下ろしを加える。

毎日新聞 2022/02/19

2021:12./ 223p
978-4-16-391482-4

¥1,595〔税込〕



* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 4 8 2 4 *



古典を読んだら、悩みが消えた。～世の中になじめない人に贈るあたたかい古典案内～

安田 登 著
大和書房

人生の危機に直面した時、生きているのが苦しくなったとき、古典は生きる知恵を教えてください。「古事記」「平家物語」「論語」などの古典から、現代の悩みを解決するヒントを学ぶ。

毎日新聞 2022/02/19

2022:1./ 271p
978-4-479-39373-3

¥1,650〔税込〕



* 9 7 8 4 4 7 9 3 9 3 7 3 3 *



地方メディアの逆襲(ちくま新書 1623)

松本 創 著
筑摩書房

現場にこだわり、時間をかける取材で見えるものとは? 地方紙、地方局の記者やディレクター、報道幹部を訪ね、地方からジャーナリズムを問い直す。『Web ちくま』連載を書籍化。

毎日新聞 2022/02/19

2021:12./ 266p
978-4-480-07445-4

¥946〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 0 0 7 4 4 5 4 *



ものがたりで学ぶ経済学入門<続>

根井 雅弘 著

中央経済社

2020 年春、大学生になった経太だが、コロナ禍で授業はすべてオンラインに。そんな中、経済学者・杉本先生から、オンライン授業ではあまり触れられない経済の話をお聴かせしてもらい…。小説形式で描いた経済学の入門書の続編。

毎日新聞 2022/02/19

2021:11./ 216p
978-4-502-40461-0

¥2,420〔税込〕



* 9 7 8 4 5 0 2 4 0 4 6 1 0 *



民主主義が科学を必要とする理由(叢書・ユニベルシタス 1140)

ハリー・コリンズ／ロバート・エヴァンズ 著

法政大学出版局

様々な批判を受ける科学。それでも民主主義社会は科学を必要とする。その理由を、ワクチン接種、遺伝子組換え作物、気候変動などの事例から科学論・専門知識の第一人者が丁寧に説明する。

毎日新聞 2022/02/19

2022:1./ 6p,251p,21p
978-4-588-01140-5

¥3,080〔税込〕



* 9 7 8 4 5 8 8 0 1 1 4 0 5 *



刑務所の精神科医〜治療と刑罰のあいだで考えたこと〜

野村俊明 著

みすず書房

高い塀の向こうで、心の病いを抱えた人はどう暮らし、彼らを支える人々は何を思うのか。法を犯した者には、適切な医療を受ける権利もないのか。受刑者の治療に携わった精神科医が、刑罰と医療のあいだにあるもつれを描く。

毎日新聞 2022/02/19

2021:9./ 3p,212p
978-4-622-09037-3

¥2,970〔税込〕



* 9 7 8 4 6 2 2 0 9 0 3 7 3 *



フランク史<1> クローヴィス以前

佐藤 彰一 著

名古屋大学出版会

世界システムの大変動後、遠隔地交易、ローマ帝国との対抗、民族移動などを経て誕生した、500 年にわたるフランク国家の通史。1 は、初代王にいたる波乱の歴史を描く。

毎日新聞 2022/02/19

2021:7./ 5p,315p,76p
978-4-8158-1030-6

¥7,920〔税込〕



* 9 7 8 4 8 1 5 8 1 0 3 0 6 *



実践埋蔵文化財と考古学〜発掘調査から考える〜

水ノ江 和同 著

同成社

日本では、年間約 8000 件以上の発掘調査が行われている。さまざまな目的や手法で実施される発掘調査の意義と意味を、多角的な視点で解説する。資料「国指定特別史跡と史跡」も収録。「入門埋蔵文化財と考古学」の姉妹編。

毎日新聞 2022/02/19

2021:12./ 8p,179p
978-4-88621-881-0

¥1,980〔税込〕



* 9 7 8 4 8 8 6 2 1 8 8 1 0 *



幕末社会(岩波新書 新赤版 1909)

須田 努 著

岩波書店

徳川体制を支えていた仁政と武威の揺らぎ、広がる格差と蔓延する暴力、頻発する天災や疫病…。先の見えない時代に、動き出した百姓、自己主張を始めた若者、新たな生き方を模索した女性に光をあて、その社会像を総合的に描く。

毎日新聞 2022/02/26

2022:1./ 8p,265p
978-4-00-431909-2

¥1,034〔税込〕



水納島再訪

橋本 倫史 著

講談社

沖縄のやんばるにある小さな離島・水納島。開拓から戦争、産業、海洋博、そして現在までを、再訪を重ねてきた気鋭のライターが綴ったノンフィクション・エッセイ。『群像』連載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2022/02/26

2022:2./ 236p
978-4-06-526939-8

¥1,760〔税込〕



シングルマザー、その後(集英社新書 1095)

黒川 祥子 著

集英社

子どもの自立後、シングルマザーを待っているのは一層苛酷な現実だった…。調停マニアと化した前夫と闘う女性やセックスワーカー等、国から見放された女性たちの痛切な叫びに耳を傾け、制度の不作為を告発するルポルタージュ。

毎日新聞 2022/02/26

2021:12./ 295p
978-4-08-721195-5

¥1,012〔税込〕



長いお別れ(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 7 - 1)

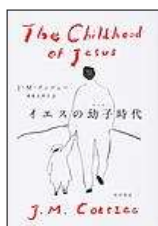
レイモンド・チャンドラー 著

早川書房

毎日新聞 2022/02/26

1981:1./ 488p
978-4-15-070451-3

¥1,100〔税込〕



イエスの幼子時代

J.M.クッツェー、鴻巣 友季子 著

早川書房

母と生き別れた少年の面倒を見ることになった初老の男。彼らが向かうのは過去を捨てた人々が暮らす街。男も新たな名前と経歴を得て、ひとりで気ままに生きるはずだったが…。人と人とのつながりをアイロニカルに問う長篇。

毎日新聞 2022/02/26

2016:6./ 374p
978-4-15-209620-3

¥2,530〔税込〕





お楽しみはこれからだ〜映画の名セリフ〜 愛蔵版

和田誠 著

国書刊行会

イラストレーター・エッセイストなどとして活躍した和田誠の代表作である映画エッセイの名著の愛蔵版。記憶に残る<映画の名セリフ>をイラストレーションとともに紹介する。村上春樹の書き下ろしエッセイを掲載した葉を付す。

毎日新聞 2022/02/26

2022:1./ 251p
978-4-336-07300-6

¥2,970〔税込〕



ガーファネクストステージ〜四騎士+Xの次なる支配戦略〜

スコット・ギャロウェイ 著

東洋経済新報社

パンデミックの時代におけるアマゾン、アップル、フェイスブック、グーグルについて考察。さらに、GAFAの支配を免れているセクターでの大変革のチャンスや、飛躍しそうな企業なども取り上げる。

毎日新聞 2022/02/26

2021:12./ 320p,15p
978-4-492-50335-5

¥1,980〔税込〕



倭国の古代学

坂 靖 著

新泉社

動乱のつづく東アジア。倭国には各地に王が割拠し、それぞれ独自の外交をおこなっていた。5世紀、「ヤマト」と「カワチ」に政治拠点と墳墓を構えた倭の五王の時代を経て、倭国大王が中央と地方の関係を築くまでの過程を描く。

毎日新聞 2022/02/26

2021:11./ 331p
978-4-7877-2115-0

¥2,970〔税込〕



一つの市民権と二つの祖国〜ローマ共和政下イタリアの市民たち〜

毛利 晶 著

京都大学学術出版会

前4世紀半ばより、イタリアの諸民族を支配下に収め半島に帝国支配を構築したローマ。イタリア支配の鍵を自治都市と投票権なき市民権に求め、限られた史料をもとに帝国の原型が形成される過程を考察する。

毎日新聞 2022/02/26

2022:1./ 8p,401p
978-4-8140-0376-1

¥6,270〔税込〕



プロレス社会学のススメ〜コロナ時代を読み解くヒント〜

斎藤 文彦／プチ鹿島 著

ホーム社

プロレスを語ることは、今の時代を語ること。無試合観客、組織論、男女平等、マイノリティ…。プロレスライターと時事芸人が、「社会と自分とプロレス」について語り合う。『KAMINOGE』連載を書籍化。

毎日新聞 2022/02/26

2021:12./ 428p
978-4-8342-5353-5

¥2,090〔税込〕





岡野弘彦全歌集

岡野弘彦 著
青磁社

文化勲章受章歌人・岡野弘彦による全歌業。既刊 8 歌集に未刊歌篇 3 千余首を加えた約 8 千首を完全収録。短歌のほかに旋頭歌、長歌、祭詞、詩、俳句、そして独自のスタイルを確立させた組歌なども含む。詳細年譜、初句索引付き。

毎日新聞 2022/02/26

2021:12./ 1116p
978-4-86198-527-0

¥13,200〔税込〕



音楽

岡野大嗣 著
ナナロク社

遊びたい小学生の遊びたい声は月曜から仕上がって 終点に近づいてきて快速が思わせぶりに見せてくる街 祝日にちなんだことをしましょうよ布団の中を図書館にして 歌人・岡野大嗣の第 3 歌集。

毎日新聞 2022/02/26

2021:12./ 130p
978-4-86732-007-5

¥1,980〔税込〕



生まれつき翻訳〜世界文学時代の現代小説〜

レベッカ・L・ウォルコウィッツ 著
松籟社

文学の翻訳と流通の規模が拡大した今日、多くの小説は当初から翻訳を見越して書かれ、また、翻訳をその内部にあらかじめ組み入れている。翻訳という営みから考究する、画期的な世界文学論。日本語版特別寄稿も収録。

毎日新聞 2022/02/26

2021:12./ 453p
978-4-87984-417-0

¥4,400〔税込〕



サマータイム、青年時代、少年時代〜辺境からの三つの<自伝>〜

J.M.クツツエー 著
インスクリプト

乾いた赤土の南アフリカの風景、懐かしく愛しき田舎者の人生-。事実と虚構を巧みに織り交ぜたナラティブが生 드라마を浮かび上がらせる。自意識と倫理の小説家、クツツエーの自伝的三部作を収録。

毎日新聞 2022/02/26

2014:6./ 680p
978-4-900997-42-4

¥4,400〔税込〕

